

## 第11節 植物

事業実施区域及びその周辺には、重要な種及び群落等が存在するため、工事の実施（工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、掘削工事、トンネル工事の実施）及び土地又は工作物の存在及び供用（道路（地表式、嵩上式、地下式）の存在）に係る影響が考えられることから、植物の調査、予測及び評価を行いました。

### 11.1. 工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、掘削工事、トンネル工事の実施及び道路（地表式、嵩上式、地下式）の存在に係る植物

#### (1) 調査

##### 1) 調査の手法

##### ① 調査した情報

##### (a) 植物相及び植生の状況

植物相及び植生の状況について調査しました。

##### (b) 重要な種及び群落の状況

重要な種及び群落の状況（重要な種・群落の生態、分布、生育の状況、生育環境の状況）について調査しました。

##### ② 調査の手法

調査は、既存資料調査及び現地調査により行いました。調査手法は以下のとおりです。

##### (a) 植物相及び植生の状況

植物相及び植生の状況の調査は、表 11-11-1 に示す現地調査により実施しました。

表 11-11-1 現地調査の手法

項目	調査手法	調査手法の解説
植物相	直接観察及び採集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査地域内を踏査して、出現する種を目視により確認し、種名を記録した。</li> <li>・現地での同定が困難な種については採集し、持ち帰って同定を行った。</li> <li>・重要な種を確認したときは、確認位置及び生育状況等を記録した。</li> </ul>
植生	植生図作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省の植生図、空中写真を参考に、植生素図を作成した。</li> <li>・これを基に現地踏査を行い、植生や土地利用のタイプ及び広がりを確認・修正し、現存植生図を作成した。</li> </ul>
	群落組成調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査地域内の相観的な植物群落ごとに、典型的に発達し、できるだけ均質な場所を選定して調査区を 1～数箇所設定した。</li> <li>・調査区では地形（傾斜角、方位）、環境（風当り、日当り、湿度）等の立地条件を記録し、群落の階層（高木層、亜高木層、低木層、草本層）ごとに、その優占種と樹高（平均高、m）、植被率（%）等を記録した。</li> <li>・次に、調査区内を踏査しながら階層ごとに全種名を挙げ、出現種の被度と群度をブロンブランク法により判定した。</li> </ul>

**(b) 重要な種及び群落の状況****a) 重要な種及び群落の生態**

重要な種及び群落の生態については、表 11-11-2 に示す図鑑、研究論文、その他の資料の収集により整理しました。

**表 11-11-2 既存資料一覧**

資料名	発行年	発行者等
改訂新版 日本の野生植物 1, ソテツ科～カヤツリグサ科	平成 27 年 12 月	平凡社
改訂新版 日本の野生植物 2, イネ科～イラクサ科	平成 28 年 3 月	平凡社
改訂新版 日本の野生植物 3, バラ科～センダン科	平成 28 年 9 月	平凡社
改訂新版 日本の野生植物 4, アオイ科～キョウチクトウ科	平成 29 年 3 月	平凡社
改訂新版 日本の野生植物 5, ヒルガオ科～スイカズラ科	平成 29 年 9 月	平凡社
愛知県の絶滅のおそれのある野生生物レッドデータブックあいち 2020-植物編-	令和 2 年 3 月	愛知県環境局環境政策部自然環境課
まもりたい静岡県の野生生物 2020-静岡県レッドデータブック<植物・菌類編>-	令和 2 年 3 月	静岡県暮らし・環境部環境局自然保護課
第 5 次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物，維管束植物。	令和 7 年 3 月	環境省

**b) 重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況**

重要な種及び群落の分布、生育の状況及び生育環境の状況については、表 11-11-3(1)～(2)及び表 11-11-4 に示す選定基準に該当する種及び群落等について、「(a) 植物相及び植生の状況」の調査と併せて行いました。

**表 11-11-3(1) 重要な種の選定基準**

植物の重要な種の選定基準		
①	「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号）に基づく天然記念物及び特別天然記念物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別天然記念物（特天）</li> <li>・天然記念物（天）</li> </ul>
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 法律第 75 号、最終改正：令和元年 6 月 14 日法律第 37 号）及び「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律施行令」（平成 5 年 政令第 17 号、最終改正：令和 2 年 12 月 16 日政令第 352 号）に基づく国内希少野生動植物種等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内希少野生動植物種（国内）</li> <li>・緊急指定種（緊急）</li> </ul>
③	「静岡県希少野生動植物保護条例」（平成 23 年 4 月 1 日静岡県条例第 37 号）に基づく指定希少野生動植物種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県指定種（県指）</li> </ul>

表 11-11-3(2) 重要な種の選定基準

植物の重要な種の選定基準		
④	「自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例」（昭和 48 年 3 月 30 日愛知県条例第 3 号、最終改正：平成 22 年 3 月 26 日愛知県条例第 12 号）に基づく指定希少野生動植物種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県指定種（県指）</li> </ul>
⑤	「第 5 次レッドリスト（植物・菌類）」（環境省、令和 7 年 3 月）の掲載種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EX：絶滅</li> <li>・ EW：野生絶滅</li> <li>・ CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類</li> <li>・ CR：絶滅危惧ⅠA類</li> <li>・ EN：絶滅危惧ⅠB類</li> <li>・ VU：絶滅危惧Ⅱ類</li> <li>・ NT：準絶滅危惧</li> <li>・ DD：情報不足</li> <li>・ LP：絶滅のおそれのある地域個体群</li> </ul>
⑥	「まもりたい静岡県の野生生物 2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県暮らし・環境部環境局自然保護課、令和 2 年 3 月）の掲載種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EX：絶滅</li> <li>・ EW：野生絶滅</li> <li>・ CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類</li> <li>・ CR：絶滅危惧ⅠA類</li> <li>・ EN：絶滅危惧ⅠB類</li> <li>・ VU：絶滅危惧Ⅱ類</li> <li>・ NT：準絶滅危惧</li> <li>・ DD：情報不足</li> <li>・ LP：地域個体群</li> </ul> 要注目種：（静岡県独自のカテゴリー） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ N-I：現状不明</li> <li>・ N-II：分布上注目種等</li> <li>・ N-III：部会注目種</li> </ul>
⑦	「レッドリストあいち 2025」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和 7 年 3 月）の掲載種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EX：絶滅</li> <li>・ EW：野生絶滅</li> <li>・ CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類</li> <li>・ CR：絶滅危惧ⅠA類</li> <li>・ EN：絶滅危惧ⅠB類</li> <li>・ VU：絶滅危惧Ⅱ類</li> <li>・ NT：準絶滅危惧</li> <li>・ DD：情報不足</li> <li>・ LP：地域個体群</li> </ul>
⑧	「静岡県立自然公園条例」（昭和 36 年 10 月 4 日静岡県条例第 53 号、最終改正：令和元年 10 月 25 日静岡県条例第 15 号）に基づく浜名湖県立自然公園の特別地域で捕獲や採取等を規制する植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○：静岡指定</li> </ul>

表 11-11-4 重要な植物群落等の選定基準

重要な植物群落等の選定基準	
①	<p>「文化財保護法」（昭和 25 年法律第 214 号、最終改正：令和 3 年 4 月 23 日法律第 22 号）に基づく天然記念物及び特別天然記念物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別天然記念物（特天）</li> <li>・ 天然記念物（天）</li> </ul>
②	<p>「第 2 回自然環境保全基礎調査日本の重要な植物群落の分布」（昭和 57 年、環境庁）、「第 3 回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」（平成元年、環境庁）、「第 5 回自然環境保全基礎調査特定植物群落調査報告書」（平成 12 年、環境庁）に掲載されている特定植物群落</p> <p>特定植物群落のうち以下の区分に該当するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A：原生林もしくはそれに近い自然林</li> <li>B：国内若干地域に分布するが、極めて稀な植物群落又は個体群</li> <li>C：比較的普通に見られるものであっても、南限、北限、隔離分布等分布限界になる産地に見られる植物群落又は個体群</li> <li>D：砂丘、断崖地、塩沼地、湖沼、河川、湿地、高山、石灰岩地等の特殊な立地に特有な植物群落又は個体群で、その群落の特徴が典型的なもの</li> <li>E：郷土景観を代表する植物群落で、特にその特徴が典型的なもの</li> <li>F：過去において人工的に植栽されたことが明らかな森林であっても、長期にわたって伐採等の手が入っていないもの</li> <li>G：乱獲その他の人為の影響によって、当該都道府県内で極端に少なくなるおそれのある植物群落又は個体群</li> <li>H：その他、学術上重要な植物群落又は個体群</li> </ul>
③	<p>「第 4 回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」（平成 7 年、環境庁）、「第 6 回自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」（平成元年 3 月、環境省自然環境局生物多様性センター）に掲載されている巨樹巨木</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○：巨樹巨木</li> </ul>

### ③ 調査地域

調査地域は、方法書の事業実施区域及びその端部から 100m 程度を目安としました。調査地域を図 11-11-1 に示します。

### ④ 調査地点

調査地点及び調査ルートは、調査対象植物の生態的な特性、周辺の地形状況、植生の連続性を踏まえ、調査地域に生育する植物を効率よく把握できる場所を設定しました。

調査地点及び調査ルートを図 11-11-1 に示します。

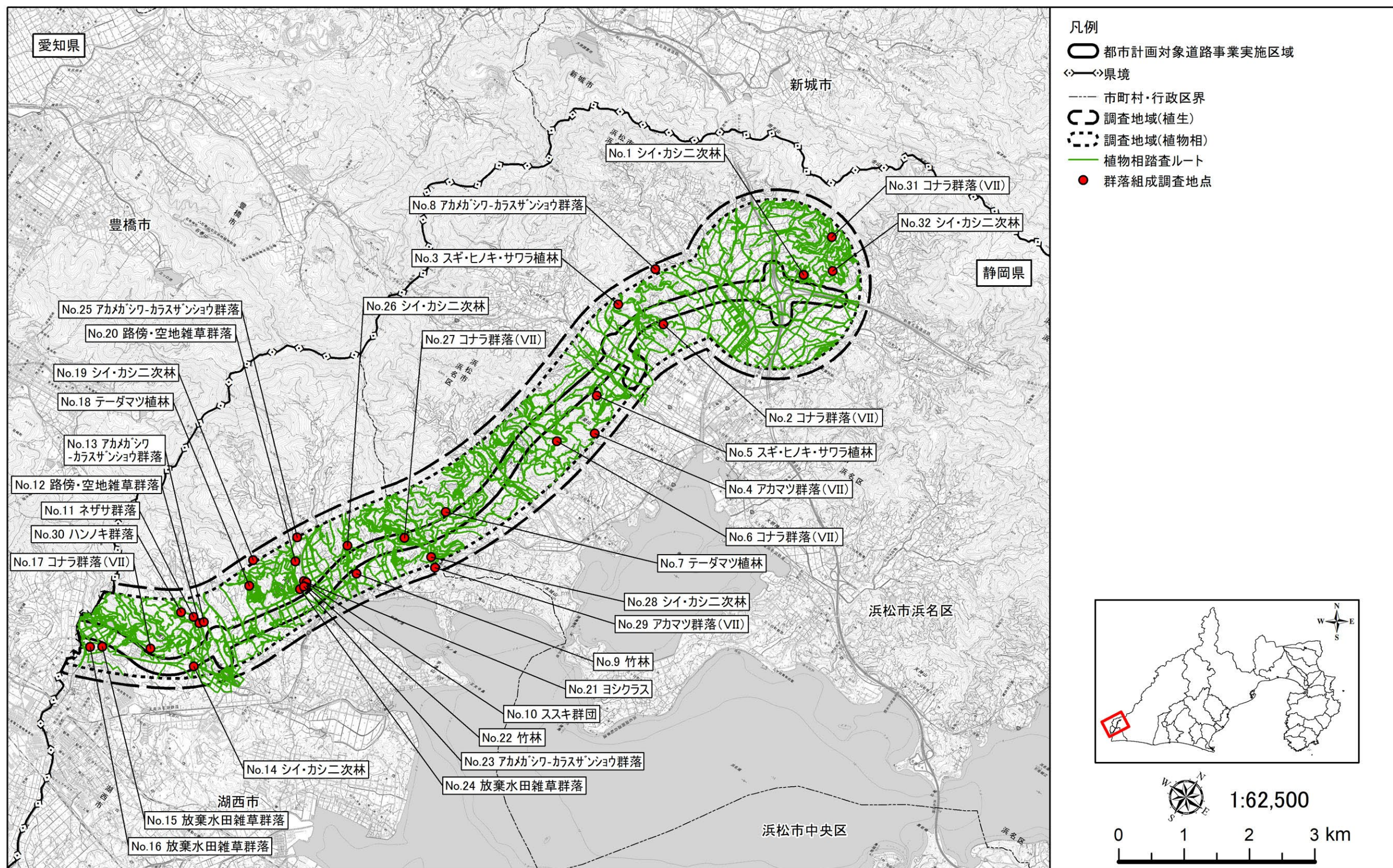


図 11-11-1 植物相・植生の調査地点位置図

## ⑤ 調査期間及び時期

調査期間は、令和2年10月～令和7年10月としました。調査時期等は、調査対象となる植物の生態的な特性を考慮し設定しました。

各項目の調査時期は、表11-11-5に示すとおりです。

表11-11-5 調査時期

調査項目	調査方法	調査期間
植物相	直接観察及び採取	秋季：令和2年10月12日～16日、11月16日～17日、 令和5年9月23日、 令和6年10月15日～16日 令和7年10月21日 早春季：令和3年2月24日～26日、 令和6年2月26日 令和7年2月25日～27日 春季：令和3年5月10日～13日、 令和5年5月18日、 令和6年5月9日～10日 令和7年5月15日 夏季：令和3年7月12日～15日、 令和5年7月13日、 令和6年7月8日～9日、7月30日 令和7年7月9日
植生 ・植物群落	直接観察	秋季：令和2年10月12日～16日、 令和3年10月18日～19日、 令和6年10月17日～18日、24日～25日
植物重要な 種調査	直接観察	春季(ハルザキヤツシロラン)：令和4年5月7日～9日、 5月16～17日 夏季(ミゾコウジュ)：令和4年6月21日～23日 秋季(サトヤマタデ)：令和4年10月17日～19日、 10月31日～11月2日







表 11-11-7(3) 植物相確認種一覧

No.	科名	種名	調査時期																重要な種					
			R2	R3				R4				R5				R6				R7				
			秋季	早春季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	早春季	春季	夏季	秋季	早春季		春季	夏季	秋季		
161	(ヤマノイモ科)	オニドコロ	○		○	○											○	○	○		○	○	○	
162	シユロソウ科	シライトソウ※1															○		○					
163		シヨウジョウバカマ	○	○	○	○							○	○		○								
164	イヌサフラン科	ホウチャクソウ			○													○						
165		チゴユリ	○														○							
166	サルトリイバラ科	サルトリイバラ	○	○	○	○							○	○	○		○	○	○		○	○	○	
167		タチシオデ	○																					
168	ユリ科	シンテッポウユリ	○		○																○			
169		ササユリ	○		○	○											○							○
170		ホトトギス	○																					
171		ヤマホトトギス			○																			
172	ラン科	エビネ		○	○	○																		○
173		エビネ属※4											○	○	○	○				○				○
174		ギンラン			○																			○
175		キンラン	○		○	○											○							○
176		キンラン属※5																○						○
177		シュンラン	○	○	○	○											○		○	○				○
178		カキラン※1				○																		○
179		ハルザキヤツシロラン			○					○											○			○
180		アケボノシユスラン			○																			○
181		ホクリクムヨウラン			○																			○
182		ウスキムヨウラン			○	○																		○
183		トサノクロムヨウラン※6																○						○
184		エンシユウムヨウラン			○												○							○
185		ムヨウラン属※7		○	○	○												○	○	○	○			○
186		ユクラン	○	○	○	○							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
187		オオバトノボソウ			○	○							○	○	○		○	○						○
188		ネジバナ			○																			○
189	アヤメ科	ヒメヒオウギズイセン	○		○	○												○						○
190		シャガ	○		○	○											○	○	○	○				○
191		キシヨウブ			○																			○
192		ニワゼキショウ			○	○											○				○	○		○
193		オオニワゼキショウ			○	○											○				○			○
194		セツカニワゼキショウ															○				○			○
195	ススキノキ科	ヤブカンゾウ	○		○	○																		○
196	ヒガンバナ科	ノビル	○	○	○												○		○	○				○
197		ヤマラッキョウ											○	○										○
198		ニラ	○																					○
199		ヒガンバナ	○	○										○	○					○	○			○
200		ナツズイセン				○																		○
201		スイセン		○	○																○			○
202		ハタケニラ	○		○																			○
203		タマズダレ	○															○	○					○
204		サフランモドキ	○			○																		○
205	クサスギカズラ科	オランダギキョウ			○																○	○		○
206		ハラン	○	○	○	○								○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
207		ツルボ	○																					○
208		ミズギボウシ			○									○	○	○								○
209		コバギボウシ												○	○	○								○
210		ヒメヤブラン	○		○	○											○	○	○					○
211		ヤブラン	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	○
212		ノシラン	○																					○
213		ジャノヒゲ	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○		○
214		カブダチジャノヒゲ	○		○	○																		○
215		ナガバジャノヒゲ	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	○
216		ミヤマナルコユリ															○							○
217		キチジョウソウ	○		○	○								○	○	○								○
218		オモト		○	○	○								○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
219	ヤシ科	シユロ	○	○	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
220	ツユクサ科	マルバツユクサ※8	○		○	○											○	○	○	○	○	○	○	○
221		カロライナツユクサ	○																					○
222		ツユクサ	○		○	○								○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
223		イボクサ	○		○	○								○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
224		ヤブミョウガ	○		○	○								○	○	○								○
225		ノハカタカラクサ	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	○
226		ムラサキツユクサ			○												○							○
227	ミズアオイ科	ホテイアオイ			○	○																		○
228		コナギ	○			○													○					○
229	ショウガ科	ハナミョウガ	○	○	○	○																		○
230		ミョウガ			○	○																		○
231	ガマ科	ヒメガマ	○		○	○												○	○	○				○
232		ガマ	○		○	○												○	○	○				○
233		コガマ	○		○	○															○			○
234	ホシクサ科	ホシクサ	○																					○
235		コイヌノヒゲ												○										○
236		シラタマホシクサ												○										○
237	イグサ科	イグサ	○		○	○															○	○	○	○
238		アオコウガイゼキショウ				○								○										○
239		コウガイゼキショウ	○		○	○																		○
240		クサイ			○	○												○						○
241		スズメノヤリ			○	○																		○



表 11-11-7(5) 植物相確認種一覧

No.	科名	種名	調査時期																重要な種					
			R2	R3				R4				R5				R6				R7				
			秋季	早春季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	早春季	春季	夏季	秋季	早春季		春季	夏季	秋季		
323	(イネ科)	イヌムギ		○	○	○										○	○			○	○			
324		スズメノチャヒキ			○	○										○	○							
325		キツネガヤ				○											○						○	
326		ノガリヤス	○		○													○						
327		ヤマアワ			○	○												○	○					
328		チョウセンガリヤス	○																					
329		ジュズダマ	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	
330		ギョウギシバ	○		○	○										○	○	○	○	○	○	○	○	
331		カモガヤ			○																			
332		メシバ	○			○											○	○				○	○	
333		コメシバ				○																		
334		アキメシバ	○																					
335		アブラスキ	○																	○				
336		イヌビエ	○			○											○	○				○	○	
337		ヒメイヌビエ	○			○											○	○						
338		タイヌビエ	○																					
339		オヒシバ	○			○											○	○				○	○	
340		アオカモジグサ			○	○											○	○			○			
341		タチカモジ			○	○																		
342		カモジグサ			○	○											○				○	○		
343		シナダレスズメガヤ	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	
344		カゼクサ	○																				○	
345		コスズメガヤ	○			○											○	○						
346		ニワホコリ	○			○											○	○						
347		オオニワホコリ				○																		
348		トボシガラ			○												○				○			
349		ムツオレグサ			○	○																		
350		ドジョウツナギ			○						○							○						
351		チガヤ	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	
352		チゴザサ	○									○	○	○								○		
353		ハイチゴザサ	○																○					
354		タイワンカモノハシ										○	○											
355		サヤヌカグサ	○					○									○							
356		ササガヤ	○		○	○	○											○						
357		アゼガヤ	○																	○			○	
358		ネズミムギ			○	○											○	○			○	○		
359		ホムムギ			○	○																		
360		ササクサ	○		○	○						○	○	○			○	○	○					
361		ユメガヤ			○												○							
362		アシボソ	○			○											○	○					○	
363		トキワスキ				○											○	○						
364		オギ	○		○	○											○	○		○	○	○	○	
365		ススキ	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
366		ヌマガヤ	○	○								○	○	○	○									
367		コチヂミザサ	○	○	○	○						○	○	○							○	○	○	
368		ケチヂミザサ	○		○															○			○	
369		ヌカキビ	○	○			○													○	○		○	
370		オオクサキビ	○																	○			○	
371		シマスズメノヒエ	○			○											○	○			○	○	○	
372		キシウズズメノヒエ	○			○											○	○					○	
373		ナガバズズメノヒエ	○																				○	
374		アメリカズズメノヒエ	○			○											○	○				○	○	
375		スズメノヒエ	○																					
376		タチスズメノヒエ	○	○		○											○	○			○	○	○	
377		チカラシバ	○																	○				
378		クサヨシ	○		○	○											○	○		○	○	○		
379		ヨシ	○	○	○	○	○										○	○	○	○	○	○		
380		ツルヨシ	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○		
381		モウソウチク	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	
382		ハチク	○	○	○	○																		
383		クロチク			○	○																		
384		マダケ	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○	○	
385		ネザサ	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
386		ケネザサ	○																	○	○		○	
387		コンゴウタケ	○			○																		
388		メダケ	○	○	○	○											○	○	○	○				
389		ミノイチゴツナギ			○												○				○			
390		タマミノイチゴツナギ			○												○							
391		スズメノカタビラ		○	○	○											○			○				
392		ツルスズメノカタビラ			○	○											○				○			
393		オオイチゴツナギ			○																			
394		ナガハグサ			○																			
395		オオスズメノカタビラ			○																○			
396		ヒユガエリ			○	○															○			
397		ヤダケ	○	○	○	○											○	○	○	○				
398		ヨシスキ	○			○														○				
399		ハイヌメリグサ	○																					
400		ヌメリグサ	○																					
401		クマザサ										○	○	○	○									
402		オニウシノケグサ			○	○											○	○				○		
403		アキノエノコログサ	○			○												○	○				○	

















表 11-11-7(14) 植物相確認種一覧

No.	科名	種名	調査時期																重要な種							
			R2	R3			R4			R5			R6			R7										
			秋季	早春季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	早春季	春季	夏季	秋季	早春季		春季	夏季	秋季				
1051	(キク科)	シロバナタンポポ		○	○											○										
1052		セイヨウタンポポ	○	○	○	○										○	○	○	○	○	○	○				
1053		トウカイタンポポ			○											○										
1054		サワオグルマ		○	○						○					○										○
1055		オオオナモミ	○		○																					
1056		アカオニタビラコ		○	○	○	○										○	○			○	○		○		
1057		アオオニタビラコ	○	○	○	○											○	○	○	○	○	○				
1058		ヒヤクニチソウ																○								
1059	トベラ科	トベラ	○	○	○	○														○						
1060	ウコギ科	タラノキ	○	○	○	○										○	○			○						
1061		カクレミノ	○	○	○	○												○		○	○	○	○			
1062		ケヤマウコギ	○		○																					
1063		ヤマウコギ	○		○	○						○											○			
1064		ヤツデ	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1065		タカノツメ	○																							
1066		カナリーキツタ	○																							
1067		キツタ	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1068		オオバチドメ	○	○	○	○											○	○								
1069		ノチドメ	○		○	○													○					○	○	
1070		オオチドメ	○																							
1071		チドメグサ				○																				
1072		ウチワゼニクサ			○																○	○	○	○		
1073		ヒメチドメ					○																			
1074		ハリギリ																			○					
1075	セリ科	ノダケ	○		○						○	○	○													
1076		ツボクサ	○		○	○						○	○	○	○	○						○	○			
1077		セントウソウ																			○					
1078		ミツバ	○		○	○																				
1079		マツバゼリ			○	○																				
1080		セリ	○	○	○	○	○										○	○			○	○	○			
1081		ヤブニンジン			○																		○			
1082		ウマノミツバ			○																					
1083		ヤブジラミ	○		○	○																				
1084		オヤブジラミ			○	○						○												○		
1085	ガマズミ科	ニワトコ	○	○	○	○																				
1086		ガマズミ	○		○	○						○	○	○			○	○	○							
1087		コバノガマズミ	○		○	○												○	○	○						
1088		サンゴジュ	○	○	○	○												○	○	○	○		○		○	
1089		オトコヨウゾメ			○																					
1090		ミヤマガマズミ			○																					
1091	スイカズラ科	ツクバネウツギ			○												○	○	○							
1092		ヤマウグイスカグラ			○																					
1093		スイカズラ	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1094		オトコエシ	○		○																					
1095		ハコネウツギ	○																							
合計	157科	1,095種	689種	325種	696種	714種	35種	1種	0種	1種	135種	141種	149種	89種	394種	410種	414種	216種	224種	185種	195種	66種				

注1) 種名及び配列は主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト，令和6年度生物リスト」（河川環境データベース，国土交通省，令和6年）に準拠しました。

注2) R2年秋季、R3年秋季、R6年秋季には、群落組成調査による確認種を含みます。

注3) 表11-11-3に示す重要な種の選定基準⑧に該当する種は、県立自然公園内で確認した場合のみ、重要な種として扱いました。

注4) 属止めの種は、同属の種が確認されている場合は「-」と表示して種数にカウントしていません。ただし、※3～※6の4種については複数の重要な種に該当する可能性があるため「○」と表示し、種数にカウントしました。

※1 ミズスギ、ナチシダ、イワヒトデ、シライトソウ、カキラン、シャリンバイ、コスミレ、ナガバタチツボスミレ、ガンピについては、表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準⑧に該当しますが、現地調査での確認地点は全て県立自然公園の範囲外であったため、重要な種の対象外としました。

※2 イヌカタヒバとニッケイは、表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準⑤に該当しますが、静岡県及び愛知県に分布する個体は逸出個体であることが明らかであるため、重要な種の対象外としました。

※3 調査地域に生育する可能性があるカンアオイ属は、フタバアオイ、ヒメカンアオイ、イワタカンアオイ、カンアオイ、スズカカンアオイ、ウスバサイシン、ゼニバサイシンが挙げられます。このうちヒメカンアオイ、イワタカンアオイ、ウスバサイシンが重要な種に該当します。

※4 調査地域に生育する可能性があるエビネ属は、キソエビネ、キエビネ、エビネ、ヤブエビネ、キンセイラン、ナツエビネが挙げられます。このうちキソエビネ、キエビネ、エビネ、キンセイラン、ナツエビネが重要な種に該当します。

なお、R5年春季～R6年早春季に確認した個体は生育地点の状況から植栽起源と判断し、重要な種

の対象外としました。

- ※5 調査地域に生育する可能性があるキンラン属は、ギンラン、キンラン、ササバギンラン、ユウシュンランが挙げられます。これら全てが重要な種に該当します。
- ※6 トサノクロムヨウランは、近年の研究によりクロムヨウランから区分された種です。クロムヨウランとされていたものには開花するものと、蕾のまま花が落下するにも関わらず自家受粉して結実するものがあることが明らかになり、開花するものがトサノクロムヨウランとされました。一般の植物図鑑ではクロムヨウランは開花するものとして記載されており、トサノクロムヨウランと区別されていません。表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準⑧に該当するのはクロムヨウランですが、トサノクロムヨウランを含むものとして扱いました。
- ※7 調査地域に生育する可能性があるムヨウラン属は、ムヨウラン、ウスキムヨウラン、トサノクロムヨウラン、エンシュウムヨウラン、ホクリクムヨウランが挙げられます。これら全てが重要な種に該当します。
- ※8 マルバツユクサは、表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準の⑧に該当しますが、確認地点は県立自然公園内であっても果樹園周辺や市街地の路傍であり、逸出個体であることが明らかなため、重要な種の対象外としました。
- ※9 トキワマンサクは、表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準の⑥、⑧に該当しますが、確認地点は静岡県指定天然記念物「トキワマンサク北限群生地」であるため「重要な植物群落等（文化財指定されている樹木等）」として取り扱うこととし、重要な種では対象外としました。
- ※10 ヒトツバタゴは、表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準の⑤及び⑦に該当しますが、現地調査で確認した個体は植栽であったため、重要な種の対象外としました。

## (b) 植生の状況

現地調査の結果、表 11-11-8 及び表 11-11-9 に示すとおり、17 の植物群落と 7 つの土地利用等が確認されました。

現存植生図を図 11-11-2 に示します。

表 11-11-8 植物群落の概要

凡例番号	群落名	階層構造と主要構成種
1	シイ・カシ二次林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木層：ツブラジイ</li> <li>・亜高木層：ツブラジイ、アラカシ</li> <li>・低木層：ヤブツバキ、ミミズバイ、ツブラジイ、サカキ、ネズミモチ</li> <li>・草本層：テイカカズラ、タイミンタチバナ、ツブラジイ、アラカシ</li> </ul>
2	コナラ群落 (VII)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木層：コナラ、アベマキ</li> <li>・亜高木層：アラカシ、ソヨゴ、サカキ</li> <li>・低木層：ヒサカキ、ツブラジイ</li> <li>・草本層：テイカカズラ、キジョラン、コシダ、ベニシダ</li> </ul>
3	アカメガシワ・カラスザンショウ群落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亜高木層：アカメガシワ、ツブラジイ</li> <li>・低木層：アカメガシワ、ネザサ、ハゼノキ</li> <li>・草本層：テイカカズラ、キツタ、クサイチゴ</li> </ul>
4	ハンノキ群落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木層：ハンノキ</li> <li>・亜高木層：ハンノキ</li> <li>・低木層：ヨシ</li> <li>・草本層：ミゾソバ</li> </ul>
5	アカマツ群落 (VII)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・亜高木層：アカマツ</li> <li>・低木層：リョウブ、クロマツ</li> <li>・草本層：コシダ、ススキ</li> </ul>
6	ネザサ群落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低木層：ネザサ</li> <li>・草本層：テイカカズラ</li> </ul>
7	ススキ群団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草本層：ススキ、セイタカアワダチソウ</li> </ul>
8	ヨシクラス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草本層：ヨシ、ミゾソバ</li> </ul>
9	スギ・ヒノキ・サワラ植林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木層：スギ、ヒノキ</li> <li>・亜高木層：スギ、ヒノキ</li> <li>・低木層：ミミズバイ、ツブラジイ</li> <li>・草本層：ベニシダ、コシダ</li> </ul>
10	テーダマツ植林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木層：テーダマツ</li> <li>・亜高木層：ヒノキ、アカメガシワ</li> <li>・低木層：ヒサカキ</li> <li>・草本層：コシダ、ベニシダ</li> </ul>
11	竹林	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高木層：モウソウチク、マダケ</li> <li>・亜高木層：モウソウチク、マダケ</li> <li>・低木層：ムクノキ</li> <li>・草本層：コチヂミザサ、テイカカズラ</li> </ul>
12	路傍・空地雑草群落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草本層：コセンダングサ、アキメヒシバ、コツブキンエノコロ</li> </ul>
13	放棄畑雑草群落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草本層：イヌタデ</li> </ul>
14	常緑果樹園	—
15	畑雑草群落	—
16	水田雑草群落	—
17	放棄水田雑草群落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・草本層：ヨシ、ミゾソバ、ジュズダマ</li> </ul>

注1) 凡例番号は、図11-11-2の凡例番号を示します。

注2) 表中の階層構造と主要構成種は、群落組成調査結果より作成しました。

表 11-11-9 土地利用等の概要

凡例 番号	群落名	階層構造と主要構成種
18	市街地	—
19	緑の多い住宅地	—
20	太陽光発電施設	—
21	工場地帯	—
22	造成地	—
23	高速道路	—
24	開放水域	—

注1) 凡例番号は、図11-11-2の凡例番号を示します。

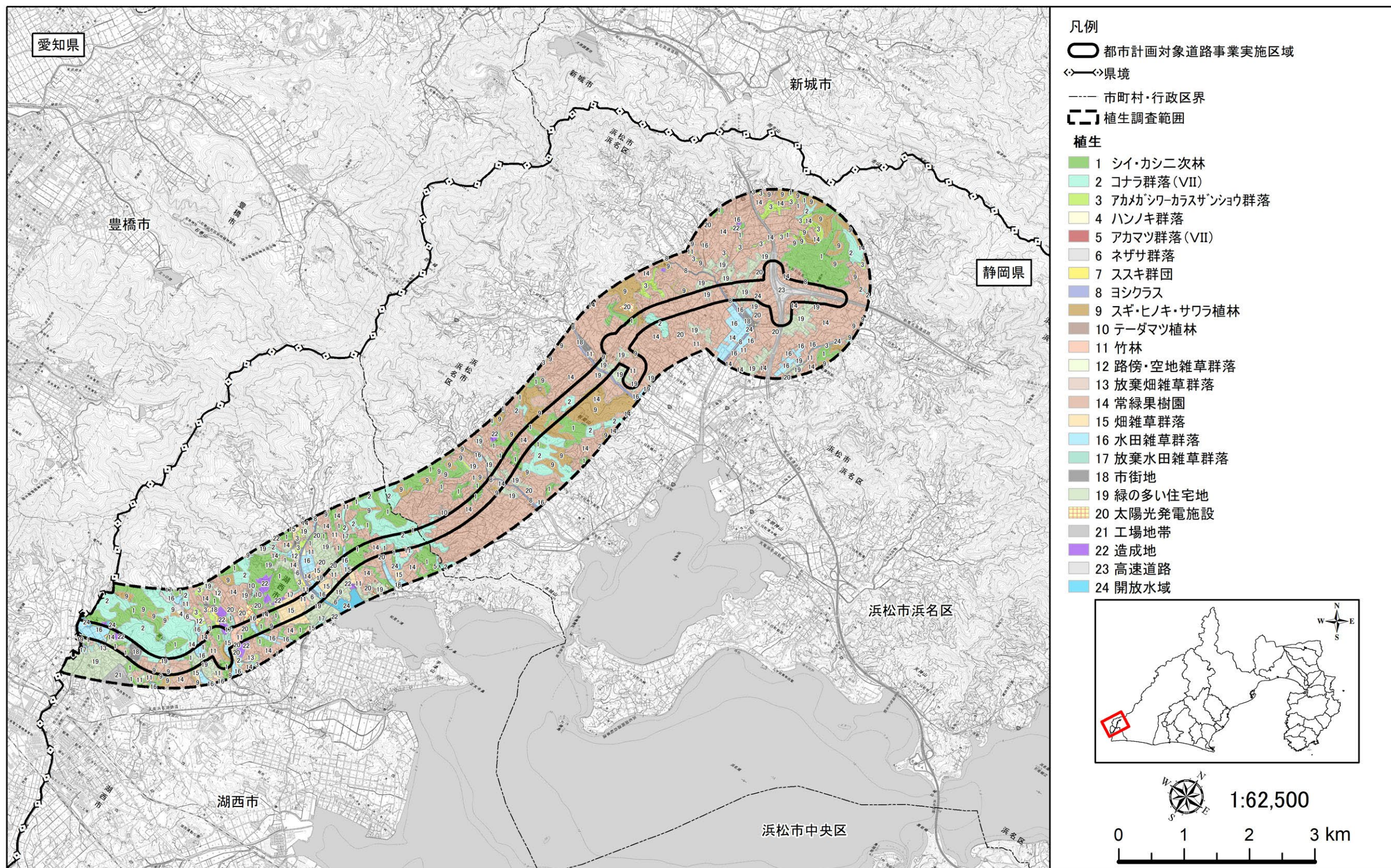


図 11-11-2 現存植生図

## ② 重要な種及び群落等の状況

現地調査結果の概要は、表 11-11-10 に示すとおりです。なお、調査地域において重要な植物群落は確認されませんでした。

表 11-11-10 現地調査結果の概要（重要な種及び群落等）

項目	確認種数 ／件数	重要な種
重要な種	33 科 66 種	マツバラシ、エダウチホングウシダ、ツクシイワヘゴ、ヌカイタチシダマガイ、ヒメカンアオイ、ササユリ、エビネ等
巨樹・巨木	4 件	大福寺のイチョウ、大神山八幡宮のスギ、大神山八幡宮のスタジイ（2 件）
文化財指定されている樹木等（天然記念物）	2 件	トキワマンサク北限群生地（静岡県指定天然記念物） 玉洞寺のサザンカ（浜松市指定天然記念物）

## (a) 重要な種の状況

現地調査で確認された種のうち、重要な植物はマツバラシ、エビネ、ハルザキヤツシロラン等の 66 種でした。

現地調査で確認された重要な植物を表 11-11-11(1)～(2)に示します。

表 11-11-11(1) 現地調査により確認された重要な植物

No.	科名	種名	重要な種の選定基準							
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1	マツバラシ科	マツバラシ					NT	VU	VU	○
2	ホングウシダ科	エダウチホングウシダ						N-III		○
3	オシダ科	ツクシイワヘゴ						N-III	NT	○
4		ヌカイタチシダマガイ						VU		○
5	ウマノズクサ科	ヒメカンアオイ								○
6		カンアオイ属※1					※1	※1	※1	※1
7	ユリ科	ササユリ								○
8	ラン科	エビネ					NT	NT	NT	○
9		エビネ属※2					※2	※2	※2	※2
10		ギンラン						N-III		○
11		キンラン					NT	NT	NT	○
12		キンラン属※3					※3	※3	※3	※3
13		シュンラン								○
14		ハルザキヤツシロラン					VU	VU	EN	○
15		アケボノシュスラン						N-III		○
16		ホクリクムヨウラン							VU	
17		ウスキムヨウラン					NT	NT	VU	○
18		トサノクロムヨウラン※4							VU	○
19	エンシュウムヨウラン						VU			
20	ムヨウラン属※5						※5	※5	※5	
21	コ克蘭								○	
22	クサスギカズラ科	ミズギボウシ								○
23	ホシクサ科	シラタマホシクサ					VU	VU	VU	○
24	カヤツリグサ科	キシウナキリスゲ					VU	VU	NT	○
25		セイタカハリイ							VU	

表 11-11-11(2) 現地調査により確認された重要な植物

No.	科名	種名	重要な種の選定基準								
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
26	(カヤツリグサ科)	クグテンツキ								VU	
27		トラノハナヒゲ								CR	
28	イネ科	ヒメコヌカグサ					NT	NT			○
29	ツツラフジ科	ハスノハカズラ						N-III			○
30	アワブキ科	ヤマビワ								EN	
31	ヤマモガシ科	ヤマモガシ								VU	
32	マンサク科	マンサク									○
33	バラ科	ミヤコイバラ									○
34	カバノキ科	サクラバハンノキ					NT	NT			○
35	ホルトノキ科	ホルトノキ								VU	
36	スマレ科	ヒメスマレ									○
37		スマレ									○
38		ニオイタチツボスマレ									○
39		フモトスマレ									○
40		マキノスマレ									○
41	ミソハギ科	ミズマツバ					NT	NT			○
42	アカバナ科	ウスゲチョウジタデ					NT	NT			
43	タデ科	サトヤマタデ								NT	
44		コギシギシ					NT	EN			○
45	モウセンゴケ科	トウカイコモウセンゴケ									○
46	カキノキ科	トキワガキ									○
47	ハイノキ科	クロミノニシゴリ							NT		○
48		カンザブロウノキ								VU	○
49	ツツジ科	ヒロハドウドンツツジ								VU	
50		ミツバツツジ									○
51		ヤマツツジ									○
52		モチツツジ									○
53		コバノミツバツツジ									○
54		ナガボナツハゼ				県指	CR	EN	CR		○
55	アカネ科	ルリミノキ								NT	○
56	リンドウ科	センブリ									○
57	キョウチクトウ科	シタキシウ								VU	○
58		キジョラン									○
59		クサタチバナ					NT	EN	CR		
60	オオバコ科	カワヂシャ					NT				
61	アゼナ科	ヒロハスズメノトウガラシ								EN	
62	シソ科	タニジャコウソウ					NT		EN		
63		ヒメナミキ						VU	NT	○	
64	ハエドクソウ科	スズメノハコベ					NT	VU	NT	○	
65	キク科	ハンカイソウ									○
66		サワオグルマ									○
合計	33科	66種	0種	0種	0種	1種	20種	28種	31種	51種	

注1) 種名及び配列は主に「河川水辺の国勢調査のための生物リスト、令和6年度生物リスト」(河川環境データベース、国土交通省、令和6年)に準拠しました。

注2) 重要な種の選定基準の根拠資料番号は表11-11-3に示すとおりです。

注3) 重要な種の選定基準⑧に該当する種は、県立自然公園内で確認した場合のみ、重要な種として扱いました。

注4) 現地調査では、重要な植物種の選定基準⑧に該当するミズスギ、ナチシダ、イワヒトデ、シライトソウ、カキラン、シャリンバイ、コスミレ、ナガバタチツボスマレ、ガンピが確認されていますが、全て県立自然公園の範囲外であったため、重要な種の対象外としました。

注5) 現地調査では、重要な植物種の選定基準の⑤に該当するイヌカタヒバとニッケイが確認されていますが、静岡県及び愛知県に分布する個体は逸出個体であることが明らかであるため、重要な種

の対象外としました。

- 注6) 現地調査では、重要な植物種の選定基準の⑧に該当するマルバツユクサが確認されていますが、確認地点は県立自然公園内であっても果樹園周辺や市街地の路傍であり、逸出個体であることが明らかなため、重要な種の対象外としました。
- 注7) 現地調査では、重要な植物種の選定基準の⑥、⑧に該当するトキワマンサクが確認されていますが、確認地点は静岡県指定天然記念物「トキワマンサク北限群生地」であるため「重要な植物群落等（文化財指定されている樹木等）」として取り扱うこととし、重要な種では対象外としました。
- 注8) 現地調査では、重要な植物種の選定基準の⑤及び⑦に該当するヒトツバタゴを確認していますが、確認した個体は植栽であったため、重要な種の対象外としました。
- ※1 カンアオイ属は、重要な植物種の選定基準に該当するヒメカンアオイ（⑧に該当）、イワタカンアオイ（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）、ウスバサイシン（⑥に該当）の可能性があります。
- ※2 エビネ属は、重要な植物種の選定基準に該当するキソエビネ（⑤、⑥に該当）、キエビネ（⑤、⑥に該当）、エビネ（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）、キンセイラン（④、⑤、⑥、⑦に該当）、ナツエビネ（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）の可能性があります。
- ※3 キンラン属は、重要な植物種の選定基準に該当するギンラン（⑥、⑧に該当）、キンラン（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）、ササバギンラン（⑦に該当）、ユウシュンラン（⑤、⑥、⑦に該当）の可能性があります。
- ※4 トサノクロムヨウランは、近年の研究によりクロムヨウランから区分された種です。クロムヨウランとされていたものには開花するものと、蕾のまま花が落下するにも関わらず自家受粉して結実するものがあることが明らかになり、開花するものがトサノクロムヨウランとされました。一般の植物図鑑ではクロムヨウランは開花するものとして記載されており、トサノクロムヨウランと区別されていません。表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準⑧に該当するのはクロムヨウランですが、トサノクロムヨウランを含むものとして扱いました。
- ※5 ムヨウラン属は、重要な植物種の選定基準に該当するムヨウラン（⑧に該当）、ホクリクムヨウラン（⑦に該当）、ウスキムヨウラン（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）、トサノクロムヨウラン（⑦、⑧に該当）、エンシュウムヨウラン（⑥に該当）の可能性があります。

**(b) 巨樹・巨木林の状況**

現地調査では、「第 4 回自然環境保全基礎調査自然環境情報図」（平成 7 年、環境庁）、  
「第 6 回自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林フォローアップ調査報告書」（平成 13 年 3  
月、環境省自然環境局生物多様性センター）に掲載されている巨樹・巨木林として、表  
11-11-12 に示す 4 件を確認しました。

**表 11-11-12 現地調査により確認された巨樹・巨木林**

No.	件名	備考
1	大福寺のイチョウ	表 4-1-53 の「No. 1 三ヶ日福長のイチョウ」に該当
2	大神山八幡宮のスギ	表 4-1-53 の「No. 5 スギ」に該当
3	大神山八幡宮のスダジイ	表 4-1-53 の「No. 6 スダジイ」、「No. 7 スダジイ」に該 当
4	大神山八幡宮のスダジイ	

**(c) 文化財指定されている樹木等（天然記念物）**

現地調査では、天然記念物（植物）として表 11-11-13 に示す 2 件が確認されました。

**表 11-11-13 現地調査により確認された植物に係る天然記念物**

No.	件名	備考
1	トキワマンサク北限群生地	静岡県指定天然記念物
2	玉洞寺のサザンカ	浜松市指定天然記念物

## (2) 予測

### 1) 予測の手法

#### ① 予測手法

植物の予測は、植物の重要な種及び群落について、「道路環境影響評価の技術手法」に基づき、分布又は生育環境の改変の程度を踏まえた解析により行いました。

工事施工ヤード及び工事用道路等の設置位置、道路構造と重要な種・群落等の生育地の分布範囲から、生育地・生育環境が消失・縮小する区間及びその程度を把握しました。

また、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置及び道路の存在による対象種の生態を踏まえた生育環境の質的変化の程度（水の濁り、土壌水分及び日照等の変化、地下水の変化）についても把握しました。なお、水の濁りによる影響は河川や湿地に生育する植物を、土壌水分及び日照等の変化は林床や湿地に生育する植物を、地下水の変化は湿地に生育する植物を対象に検討しました。

次に、それらが重要な種・群落等に及ぼす影響の程度を、科学的知見や類似事例を参考に予測しました。

予測手順を図 11-11-3 に示します。

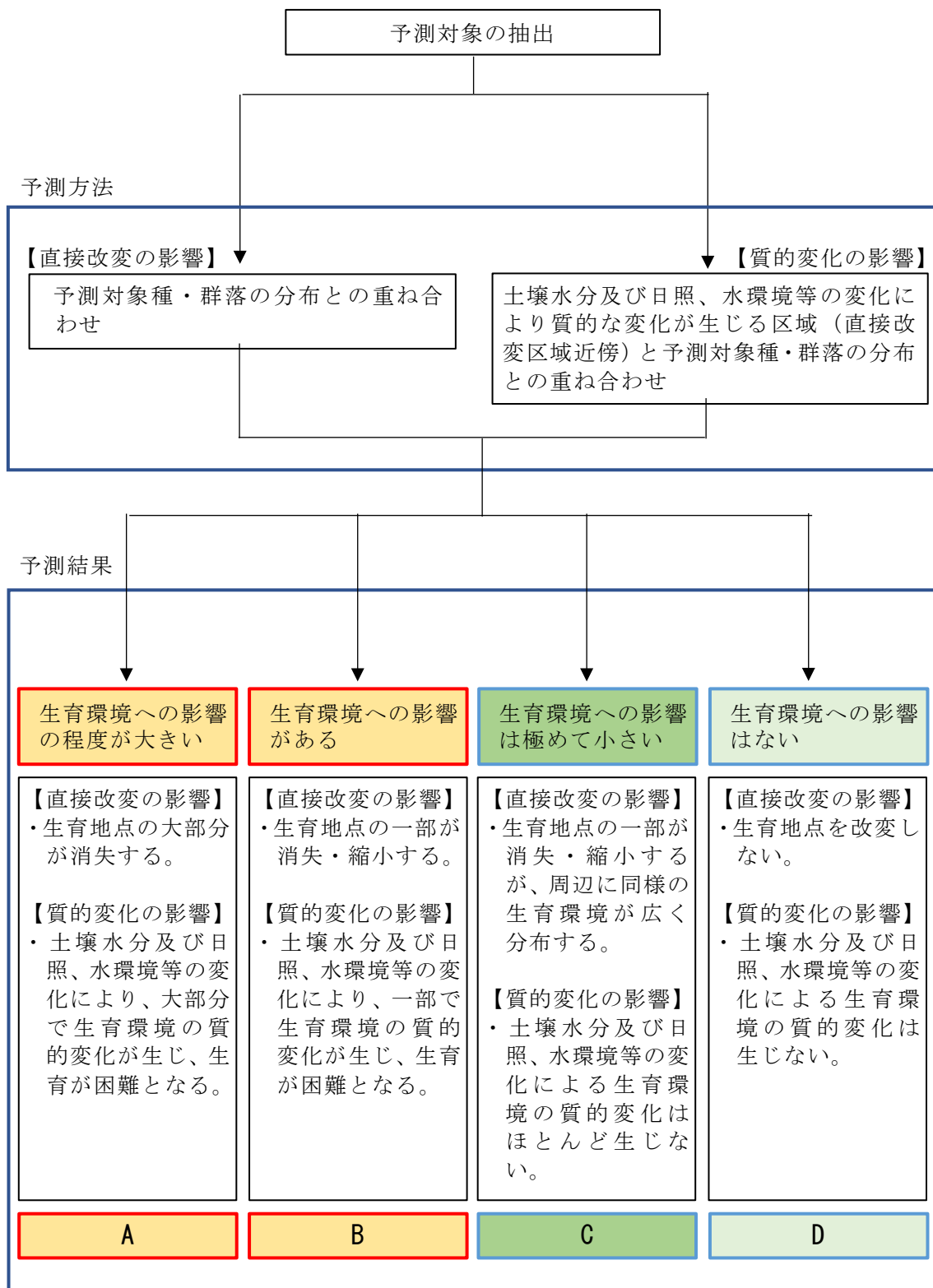


図 11-11-3 植物の予測手順

## ② 予測地域

予測地域は、調査地域のうち、植物の生育及び植生の特性を踏まえて、重要な種及び群落等に係る環境影響を受けるおそれがあると認められる地域としました。

地表部が改変され、直接的な影響を受ける可能性のある地域として「直接改変区域」を、また工事作業または道路の存在による間接的な影響を受ける可能性のある地域として「事業実施区域周辺」を予測地域としました。さらに、道路の存在及び生育地に隣接する樹林帯の改変による光・風環境等の変化が想定される範囲として、道路の端部から概ね 50m 程度を「直接改変区域近傍」としました。

### ● 予測地域

**直接改変区域**：都市計画対象道路事業実施区域内の直接改変を受ける区域（供用後は法面や側道等を含む道路用地境界まで、工事中は施工ヤード等を含む）

**直接改変区域近傍**：道路の存在及び生育地に隣接する樹林帯の改変による光・風環境等の変化が想定される範囲（道路建設に伴い樹林が伐採されると、道路の端部から概ね 50m 程度まで植生の変化等の影響が認められる）

**事業実施区域周辺（直接改変区域外）**：直接改変区域及び直接改変区域近傍を除く調査範囲

## ③ 予測対象時期等

予測の対象時期は、事業特性及び重要な種及び群落等の生態や特性を踏まえ、影響が最大になるおそれのある時期としました。

具体的には、工事用道路の建設工事や工事施工ヤードの整備等、現状の土地を改変する段階からの工事实施時期、並びに道路施設が完成・供用する時期としました。

## ④ 予測対象種の選定

予測対象種は、現地調査により事業実施区域及びその周辺で生育が確認された重要な種及び群落等を選定しました。

予測対象とした重要な種は表 11-11-14(1)～(2)に示すササユリ、シュンラン、ウスキムヨウラン等の 66 種、重要な植物群落等は表 11-11-15 に示す大福寺のイチヨウ、トキワマンサク北限群生地等の 6 件です。

表 11-11-14(1) 予測対象種（重要な植物）

No.	科名	種名	確認位置		
			直接変更 区域	直接変更 区域近傍	事業実施 区域周辺
1	マツバラ科	マツバラ			●
2	ホングウシダ科	エダウチホングウシダ			●
3	オンダ科	ツクシイワヘゴ			●
4		ヌカイタチシダマガイ			●
5	ウマノスズクサ科	ヒメカンアオイ		●	●
6		カンアオイ属※1			●
7	ユリ科	ササユリ	●		●
8	ラン科	エビネ			●
9		エビネ属※2			●
10		ギンラン			●
11		キンラン			●
12		キンラン属※3			●
13		シュンラン		●	●
14		ハルザキヤツシロラン			●
15		アケボノシュスラン			●
16		ホクリクムヨウラン			●
17		ウスキムヨウラン	●		●
18		トサノクロムヨウラン※4			●
19		エンシュウムヨウラン		●	●
20		ムヨウラン属※5	●		●
21		コ克蘭		●	●
22	クサスギカズラ科	ミズギボウシ			●
23	ホシクサ科	シラタマホシクサ			●
24	カヤツリグサ科	キシウナキリスゲ			●
25		セイタカハリイ			●
26		クグテンツキ			●
27		トラノハナヒゲ			●
28	イネ科	ヒメコヌカグサ			●
29	ツヅラフジ科	ハスノハカズラ		●	●
30	アワブキ科	ヤマビワ			●
31	ヤマモガシ科	ヤマモガシ			●
32	マンサク科	マンサク			●
33	バラ科	ミヤコイバラ		●	●
34	カバノキ科	サクラバハンノキ			●
35	ホルトノキ科	ホルトノキ			●
36	スマレ科	ヒメスマレ			●
37		スマレ			●
38		ニオイタチツボスマレ			●
39		フモトスマレ			●
40		マキノスマレ			●
41	ミソハギ科	ミズマツバ			●
42	アカバナ科	ウスゲチヨウジタデ		●	●
43	タデ科	サトヤマタデ			●
44		コギシギシ			●
45	モウセンゴケ科	トウカイコモウセンゴケ			●
46	カキノキ科	トキワガキ			●
47	ハイノキ科	クロミノニシゴリ			●
48		カンザブロウノキ			●
49	ツツジ科	ヒロハドウドンツツジ			●
50		ミツバツツジ			●

表 11-11-14(2) 予測対象種（重要な植物）

No.	科名	種名	確認位置		
			直接改変区域	直接改変区域近傍	事業実施区域周辺
51	(ツツジ科)	ヤマツツジ			●
52		モチツツジ			●
53		コバノミツバツツジ			●
54		ナガボナツハゼ			●
55	アカネ科	ルリミノキ			●
56	リンドウ科	センブリ			●
57	キョウチクトウ科	シタキシソウ		●	●
58		キジョラン			●
59		クサタチバナ			●
60	オオバコ科	カワヂシャ			●
61	アゼナ科	ヒロハスズメノトウガラシ	●	●	●
62	シソ科	タニジャコウソウ			●
63		ヒメナミキ			●
64	ハエドクソウ科	スズメノハコベ			●
65	キク科	ハンカイソウ			●
66		サワオグルマ			●

- ※1 カンアオイ属は、表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準に該当するヒメカンアオイ（⑧に該当）、イワタカンアオイ（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）、ウスバサイシン（⑥に該当）の可能性がります。
- ※2 エビネ属は、表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準に該当するキノエビネ（⑤、⑥に該当）、キエビネ（⑤、⑥に該当）、エビネ（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）、キンセイラン（④、⑤、⑥、⑦に該当）、ナツエビネ（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）の可能性がります。
- ※3 キンラン属は、表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準に該当するギンラン（⑥、⑧に該当）、キンラン（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）、ササバギンラン（⑦に該当）、ユウシュンラン（⑤、⑥、⑦に該当）の可能性がります。
- ※4 トサノクロムヨウランは、近年の研究によりクロムヨウランから区分された種です。クロムヨウランとされていたものには開花するものと、蕾のまま花が落下するにも関わらず自家受粉して結実するものがあることが明らかになり、開花するものがトサノクロムヨウランとされました。一般の植物図鑑ではクロムヨウランは開花するものとして記載されており、トサノクロムヨウランと区別されていません。表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準⑧に該当するのはクロムヨウランですが、トサノクロムヨウランを含むものとして扱いました。
- ※5 ムヨウラン属は、表11-11-3に示す重要な植物種の選定基準に該当するムヨウラン（⑧に該当）、ホクリクムヨウラン（⑦に該当）、ウスキムヨウラン（⑤、⑥、⑦、⑧に該当）、トサノクロムヨウラン（⑦、⑧に該当）、エンシュウムヨウラン（⑥に該当）の可能性がります。

表 11-11-15 予測対象種（重要な植物群落等）

No.	分類	件名	確認位置		
			直接改変区域	直接改変区域近傍	事業実施区域周辺
1	巨樹・巨木林	大福寺のイチヨウ			●
2		大神山八幡宮のスギ			●
3		大神山八幡宮のスダジイ			●
4		大神山八幡宮のスダジイ			●
5	文化財指定されている樹木等（天然記念物）	トキワマンサク北限群生地			●
6		玉洞寺のサザンカ			●

## 2) 予測の結果

### ① 予測結果の概要

重要な種及び群落等の予測結果の概要は、表 11-11-16(1)～(3)に示すとおりです。  
生育環境への影響については、図 11-11-3 の手順により、以下のように整理しました。

- A：生育環境への影響の程度が大きい
- B：生育環境への影響がある
- C：生育環境への影響は極めて小さい
- D：生育環境への影響がない

表 11-11-16(1) 重要な種の予測結果概要

分類	種名	主な生育環境	確認地点			生育環境への影響	
			直接改変区域	直接改変区域近傍	事業実施区域周辺	工事の実施	存在・供用
重要な植物	1 マツバラシ	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	2 エダウチホングウシダ	人工林			●	D	D
	3 ツクシイワヘゴ	人工林			●	D	D
	4 ヌカイタチシダマガイ	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	5 ヒメカンアオイ	樹林地(人工林以外)、人工林		●	●	C	C
	6 カンアオイ属※1	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	7 ササユリ	樹林地(人工林以外)、人工林	●		●	C	C
	8 エビネ	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	9 エビネ属※2	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	10 ギンラン	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	11 キンラン	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	12 キンラン属※3	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	13 シュンラン	樹林地(人工林以外)、人工林		●	●	B	B
	14 ハルザキヤツシロラン	樹林地(人工林以外)、人工林		●	●	C	C
	15 アケボノシュスラン	人工林			●	D	D
	16 ホクリクムヨウラン	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	17 ウスキムヨウラン	樹林地(人工林以外)	●		●	C	C
	18 トサノクロムヨウラン※4	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	19 エンシュウムヨウラン	樹林地(人工林以外)、人工林		●	●	A	A
	20 ムヨウラン属※5	樹林地(人工林以外)、人工林	●		●	C	C
	21 コ克蘭	樹林地(人工林以外)、人工林		●	●	C	C
	22 ミズギボウシ	梅田北湿地及びその周辺の小規模な湿地			●	D	D
	23 シラタマホシクサ	梅田北湿地			●	D	D
	24 キシュウナキリスゲ	人工林			●	D	D
	25 セイタカハリイ	梅田北湿地周辺の小規模な湿地			●	D	D
	26 クグテンツキ	草地(陸水域)			●	D	D
	27 トラノハナヒゲ	梅田北湿地			●	D	D

表 11-11-16(2) 重要な種の予測結果概要

分類	種名		主な生育環境	確認地点			生育環境への影響	
				直接変更 区域	直接変更 区域近傍	事業実施 区域周辺	工事の 実施	存在・ 供用
重要な植物	28	ヒメコヌカグサ	梅田北湿地及びその周辺の小規模な湿地			●	D	D
	29	ハスノハカズラ	樹林地(人工林以外)、人工林、果樹園		●	●	B	B
	30	ヤマビワ	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	31	ヤマモガシ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	32	マンサク	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	33	ミヤコイバラ	樹林地(人工林以外)、果樹園		●	●	C	C
	34	サクラバハンノキ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	35	ホルトノキ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	36	ヒメスマイレ	緑の多い住宅地・公園・墓地等			●	D	D
	37	スマイレ	樹林地(人工林以外)、緑の多い住宅地・公園・墓地等			●	D	D
	38	ニオイタチツボスマイレ	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	39	フモトスマイレ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	40	マキノスマイレ	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	41	ミズマツバ	水田			●	D	D
	42	ウスゲチョウジタデ	水田		●	●	C	C
	43	サトヤマタデ	樹林地(人工林以外)、人工林の湿地			●	D	D
	44	コギシギシ	水田			●	D	D
	45	トウカイコモウセンゴケ	梅田北湿地周辺の小規模な湿地			●	D	D
	46	トキワガキ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	47	クロミノニシゴリ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	48	カンザブrouノキ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
49	ヒロハドウドンツツジ	樹林地(人工林以外)			●	D	D	
50	ミツバツツジ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D	
51	ヤマツツジ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D	

表 11-11-16(3) 重要な種の予測結果概要

分類	種名		主な生育環境	確認地点			生育環境への影響	
				直接改変区域	直接改変区域近傍	事業実施区域周辺	工事の実施	存在・供用
重要な植物	52	モチツツジ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	53	コバノミツバツツジ	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	54	ナガボナツハゼ	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	55	ルリミノキ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	56	センブリ	人工林			●	D	D
	57	シタキソウ	樹林地(人工林以外)、人工林		●	●	C	C
	58	キジョラン	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	59	クサタチバナ	樹林地(人工林以外)			●	D	D
	60	カワヂシャ	草地(陸水域)			●	D	D
	61	ヒロハスズメノトウガラシ	水田	●	●	●	C	C
	62	タニジャコウソウ	人工林			●	D	D
	63	ヒメナミキ	樹林地(人工林以外)の湿地			●	D	D
	64	スズメノハコベ	水田			●	C	D
	65	ハンカイソウ	樹林地(人工林以外)、人工林			●	D	D
	66	サワオグルマ	梅田北湿地及びその周辺の小規模な湿地			●	D	D
	巨樹・巨木林	1	大福寺のイチョウ	—			●	D
2		大神山八幡宮のスギ	—			●	D	D
3		大神山八幡宮のスタジイ	—			●	D	D
4		大神山八幡宮のスタジイ	—			●	D	D
念天 物然 記	1	トキワマンサク北限群生地	—			●	D	D
	2	玉洞寺のサザンカ	—			●	D	D

※1 カンアオイ属は、ヒメカンアオイ、イワタカンアオイ、ウスバサイシンの可能性が想定されます。

※2 エビネ属は、キソエビネ、キエビネ、エビネ、キンセイラン、ナツエビネの可能性が想定されま

す。

※3 キンラン属は、ギンラン、キンラン、ユウシュンランの可能性が想定されます。

※4 トサノクロムヨウランは、近年の研究によりクロムヨウランから区分された種です。クロムヨウランとされていたものには開花するものと、蕾のまま花が落下するにも関わらず自家受粉して結実するものがあることが明らかになり、開花するものがトサノクロムヨウランとされました。一般の植物図鑑ではクロムヨウランは開花するものとして記載されており、トサノクロムヨウランと区別されていません。

※5 ムヨウラン属は、ホクリクムヨウラン、ウスキムヨウラン、エンシュウムヨウランの可能性が想定されます。

## ② 予測結果

## (a) 植物相

調査地域に存在する重要な植物の予測結果は、表 11-11-17(1)～(66)に示すとおりです。

表 11-11-17(1) 重要な植物の予測結果(マツバラン)

項目	内容	
生態	常緑性の多年生シダ植物。根はなく、葉もない。熱帯・亜熱帯域では山地の自然林の樹幹に着生することが多いが、愛知県も含めて、分布域の北限近くではほとんど岩場に生育している。稀に地上に生育することもある <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、4地点で317株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R6 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：4地点 317株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された4地点317株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された4地点317株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

表 11-11-17(2) 重要な植物の予測結果(エダウチホングウシダ)

項目	内容	
生態	小型の常緑性シダ。低山地の常緑樹林の湿った林内に生育する <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	人工林において、4地点で54株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：4地点54株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された4地点54株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された4地点54株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

表 11-11-17(3) 重要な植物の予測結果(ツクシイワヘゴ)

項目	内容	
生態	常緑性の多年生草本。沢沿いの林内に生育する。愛知県の自生地は、いずれも造林地や二次林内である <sup>1)</sup> 。 中型の常緑性シダ。温暖な山地の林下のやや湿った場所に生ずる <sup>2)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	人工林において、2地点で155株が確認された。
	確認時期	R3 早春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：2地点155株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の本種は、本種が確認された人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点155株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点155株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

2) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック&lt;植物・菌類編&gt;－」(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月)

表 11-11-17(4) 重要な植物の予測結果(ヌカイトチシダマガイ)

項目	内容	
生態	常緑性シダ。低山地の乾いた林床に生育する <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、1地点で20株が確認された。
	確認時期	R2 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1地点20株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点20株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点20株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

表 11-11-17(5) 重要な植物の予測結果(ヒメカンアオイ)

項目	内容	
生態	広葉樹の林床に生える多年草。花は淡紫褐色で2~3月に開く <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、26地点で274株、人工林において、11地点で82株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 夏季、R6 春季、R6 夏季、R6 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：1地点4株 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：36地点352株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には1地点4株の生育地点が存在し、工事に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により、生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された36地点352株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には1地点4株の生育地点が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により、生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された36地点352株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物1」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月)

表 11-11-17(6) 重要な植物の予測結果(カンアオイ属(ヒメカンアオイ、イワタカンアオイ、ウスバサイシンの可能性が想定される))

項目	内容	
生態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒメカンアオイ：表 11-11-17(5)参照</li> <li>・イワタカンアオイ 低地から低山地の広葉樹林下に生える多年草。葉形はヒメカンアオイに似るが、まず開花期が異なる、花は10～12月に咲き、緑紫色の場合が多い<sup>1)</sup>。</li> <li>・ウスバサイシン 山地の林下の湿ったところに生える多年草。花は4～5月、茎の先から出た2枚の葉の基部に1個つく<sup>1)</sup>。</li> </ul>	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、1地点で1株が確認された。
	確認時期	R2 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1地点1株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点1株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点1株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物1」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月)

表 11-11-17(7) 重要な植物の予測結果(ササユリ)

項目	内容	
生態	山地の草原に生える多年草。茎は高さ50-100cm。花は6~7月、茎頂に数個、横向きに開く。花被は淡紅色で漏戸形 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、6地点で13株、人工林において、8地点で66株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 春季、R6 春季
	確認位置	直接改変区域：1地点1株 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：13地点78株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には1地点1株の生育地点が存在し、工事の実施により生育環境の一部が消失・縮小する。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された13地点78株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施により本種の生育環境の一部が消失・縮小するが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には1地点所1株の生育地点が存在し、道路の存在により生育環境の一部が消失・縮小する。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された13地点78株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在により本種の生育環境の一部が消失・縮小するが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物1」（大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月）

表 11-11-17(8) 重要な植物の予測結果(エビネ)

項目	内容	
生態	<p>多年生草本。茎は高さ 30～45cm。丘陵地～低山地の林内に生育する。花期は 4～5 月、花は茎の上部にややまばらに 8～15 個つき、通常紫褐色<sup>1)</sup>。</p> <p>常緑多年草。高さ 30～40cm。花期は 4～5 月。花茎の半ばより上に多数の花をつける。暖帯から温帯下部の山地の林下に生育する。生育状況は単生から群生まであり、植林の林床に多く生育する<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、1 地点で 4 株が確認された。
	確認時期	R3 早春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1 地点 4 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 4 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 4 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

2) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

表 11-11-17(9) 重要な植物の予測結果(エビネ属(キソエビネ、キエビネ、エビネ、キンセイラン、ナツエビネの可能性が想定される))

項目	内容	
生態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キソエビネ 冷温帯の林下に生える。6～7月、3～8花をまばらにつける<sup>1)</sup>。</li> <li>・キエビネ 暖温帯の林下に生える。エビネに似るが、全体に大型で花色が黄色<sup>1)</sup>。</li> <li>・エビネ：表 11-11-17(8) 参照</li> <li>・キンセイラン 冷温帯の林下に生える。6～7月、淡黄緑色の花を5～12個まばらにつける<sup>1)</sup>。</li> <li>・ナツエビネ 冷温帯から暖温帯のやや湿った落葉樹林下に生える。7～8月、淡紫色の10～20花をまばらに総状につける<sup>1)</sup>。</li> </ul>	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、1地点で6株が確認された。
	確認時期	R6 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1地点6株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点6株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点6株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物1」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月)

表 11-11-17(10) 重要な植物の予測結果(ギンラン)

項目	内容	
生態	多年草。高さ 10～40cm。暖帯から温帯下位の林床に生育する。花期は 5～6 月。花は純白で上向きに半開して、長さ 7～9mm <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、1 地点で 2 株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1 地点 2 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 2 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 2 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

表 11-11-17(11) 重要な植物の予測結果(キンラン)

項目	内容	
生態	<p>多年生草本。茎は直立し、高さ30～70cmになる。丘陵地～山地の明るい落葉広葉樹林内に生育する。花期は4～6月、花は茎の上部に3～12個つき、黄色<sup>1)</sup>。</p> <p>多年草。高さ20～80cm。花期は4～5月。茎の上部に総状花序に鮮黄色の花を3～12個つける。暖帯から山野の林下に生育する<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、12地点で47株、人工林において、2地点で8株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 春季、R3 夏季、R6 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：14地点55株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された14地点55株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された14地点55株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

2) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック&lt;植物・菌類編&gt;－」(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月)

表 11-11-17(12) 重要な植物の予測結果(キンラン属(ギンラン、キンラン、ユウシュンランの可能性が想定される))

項目	内容	
生態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ギンラン：表 11-11-17(10)参照</li> <li>・キンラン：表 11-11-17(11)参照</li> <li>・ササバギンラン 亜寒帯から暖温帯の樹林下に生える。5～6月、白色の数花をまばらにつける<sup>1)</sup>。</li> <li>・ユウシュンラン 葉が退化し鱗片状、2cm以下。また、花被片相互の間に少し隙間が見える<sup>1)</sup>。</li> </ul>	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、1地点で1株が確認された。
	確認時期	R6 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1地点1株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点1株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点1株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物1」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月)

表 11-11-17(13) 重要な植物の予測結果(シュンラン)

項目	内容	
生態	地生の多年草。暖温帯のやや乾いた林床に生える。花は3～4月、緑黄色の花を1個、まれに2個つける <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、7地点で15株、人工林において、1地点で1株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：2地点5株 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：6地点11株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には2地点5株の生育地点が存在し、工事に伴う土壌水分及び日照等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じ、生育が困難となる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された6地点11株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化により生育環境の一部で生育が困難となることから、本種の生育環境への影響はあると予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には2地点5株の生育地点が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じ、生育が困難となる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された6地点11株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化により生育環境の一部で生育が困難となることから、本種の生育環境への影響はあると予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物1」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月)

表 11-11-17(14) 重要な植物の予測結果(ハルザキヤツシロラン)

項目	内容	
生態	菌従属栄養の多年草。花時の高さ2～6cm。暖帯のシイの巨樹林下に多いが、社寺林や植林の林床で落葉が堆積した薄暗い所に生育する。花期は4～5月。花序あたり1～4個の花をつける。花後の6月には果柄が50cmほどまで伸び、淡褐色で直立している <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、6地点で429株、人工林において、2地点で87株が確認された。
	確認時期	R3 春季、R4 春季、R7 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：1地点5株 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：7地点511株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には1地点5株の生育地点が存在し、工事に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された7地点511株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には1地点5株の生育地点が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された7地点511株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック<植物・菌類編>－」(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月)

表 11-11-17(15) 重要な植物の予測結果(アケボノシュスラン)

項目	内容	
生態	常緑多年草。茎は基部が這い、斜上し5～10cm。丘陵地から山地の谷筋など湿った樹林下に生育する。花期は9～10月。花は花茎に3～7個つけ、鐘形で淡紅紫色である <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	人工林において、1地点で20株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1地点20株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点20株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点20株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック<植物・菌類編>－」(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月)

表 11-11-17(16) 重要な植物の予測結果(ホクリクムヨウラン)

項目	内容	
生態	腐生の多年生草本。地下茎は直立し、高さ 25～40cm、淡褐色。丘陵地の常緑広葉樹、または落葉広葉樹の二次林内に生育する。花期は5～6月、花は茎の先端部に集まって4～8個つき、長さ2～10cmの総状花序となり、淡紫褐色、筒状でほとんど開かない <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、1地点で15株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1地点15株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点15株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点15株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(17) 重要な植物の予測結果(ウスキムヨウラン)

項目	内容	
生態	<p>腐生の多年生草本。地下茎は直立し、高さ 13～20cm。丘陵地の常緑広葉樹、または落葉広葉樹の二次林内に生育する。花期は 6 月、花は茎の上部に 2～6 個つき、長さ 1～5cm の総状花序となり、淡黄褐色、筒状で半開する<sup>1)</sup>。</p> <p>菌従属栄養の多年草。高さ 10～25cm。地上茎は直立し、黄色褐色であるが乾くと黒色となる。花期は 5～6 月。花は茎頂にまばらに数個つけて、淡黄色、長さ 1cm 未満で半開する。丘陵地や低山地の常緑広葉樹林内に生育する<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、15 地点で 567 株が確認された。
	確認時期	R3 春季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：1 地点 20 株 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：14 地点 547 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には 1 地点 20 株の生育地点が存在し、工事の実施によつての生育環境の一部が消失・縮小する。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 14 地点 547 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施により本種の生育環境の一部が消失・縮小するが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の 1 地点 20 株の生育地点が存在し、道路の存在によつて生育地点の一部が消失・縮小する。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育環境は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 14 地点 547 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施により本種の生育環境の一部が消失・縮小するが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

2) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック&lt;植物・菌類編&gt;－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

表 11-11-17(18) 重要な植物の予測結果(トサノクロムヨウラン)

項目	内容	
生態	<p>※クロムヨウラン 暖温帯～亜熱帯の常緑広葉樹林下に生える。開花期は6～8月で、茎あたり5～10花が次々と開く<sup>1)</sup>。</p> <p>※クロムヨウラン トサノクロムヨウランに似るものの、次の点で異なる。1) トサノクロムヨウランの花は平開するが、クロムヨウランのそれは開かず蕾のまま落下すること、2) トサノクロムヨウランに比べて花の大きさが小さいこと、3) トサノクロムヨウランよりも唇弁の紫色部の面積が広いこと、4) 唇弁先端の毛が短く密でよく分枝すること、5) 花弁の付け根付近の基部が、トサノクロムヨウランのそれより太いこと、等で区別できる<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、1地点で1株、人工林において、3地点で43株が確認された。
	確認時期	R6 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：4地点44株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された4地点44株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された4地点44株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物1」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月)

2) 「第5次レッドデータブック(植物・菌類)」(環境省、令和7年3月)

表 11-11-17(19) 重要な植物の予測結果(エンシュウムヨウラン)

項目	内容	
生態	菌従属栄養の多年草。高さ15～25cm。葉は退化して鱗片状である。山地のコナラやシイ類の林床に生育する。花期は4～5月。茎頂に数個の黄褐色の花を総状につける <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、7地点で29株、人工林において、1地点で2株が確認された。
	確認時期	R3 春季、R6 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：4地点25株 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：4地点6株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には4地点25株の生育地点が存在し、工事に伴う土壌水分及び日照等の変化により生育環境の大部分で質的な変化が生じ、生育が困難となる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された4地点6株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化により生育環境の大部分で生育が困難となることから、本種の生育環境への影響の程度は大きいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には4地点25株の生育地点が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照等の変化により生育環境の大部分で質的な変化が生じ、生育が困難となる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された4地点6株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化により生育環境の大部分で生育が困難となることから、本種の生育環境への影響の程度は大きいと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

表 11-11-17(20) 重要な植物の予測結果(ムヨウラン属(ホクリクムヨウラン、ウスキムヨウラン、トサノクロムヨウラン、エンシュウムヨウランの可能性が想定される))

項目	内容	
生態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホクリクムヨウラン：表 11-11-17(16)参照</li> <li>・ウスキムヨウラン：表 11-11-17(17)参照</li> <li>・トサノクロムヨウラン：表 11-11-17(18)参照</li> <li>・エンシュウムヨウラン：表 11-11-17(19)参照</li> </ul>	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、20 地点で 274 株、人工林において、2 地点で 25 株が確認された。
	確認時期	R3 早春季、R3 夏季、R6 夏季、R6 秋季、R7 早春季
	確認位置	直接改変区域：1 地点 1 株 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：21 地点 298 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には 1 地点 1 株の生育地点が存在し、工事の実施により生育環境の一部が消失・縮小する。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 21 地点 298 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施により本種の生育環境の一部が消失・縮小するが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には 1 地点 1 株の生育地点が存在し、道路の存在により生育地点の一部が消失・縮小する。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 21 地点 298 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在により本種の生育環境の一部が消失・縮小するが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

表 11-11-17(21) 重要な植物の予測結果(コクラン)

項目	内容	
生態	地生の多年草。暖温帯の常緑樹林下に生える。茎は棍棒状で多肉質、前年までの茎が枯れずに残存する。花茎は高さ 15～30cm、6～7月に暗紫色の花を 5～10 個、まばらに総状につける <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、66 地点で 989 株、人工林において、22 地点で 425 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 夏季、R5 春季、R5 夏季、R6 春季、R6 夏季、R6 秋季、R7 早春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：3 地点 36 株 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：85 地点 1378 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には 3 地点 36 株の生育地点が存在し、工事に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 85 地点 1378 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には 3 地点 36 株の生育地点が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 85 地点 1378 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物1」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月)

表 11-11-17(22) 重要な植物の予測結果(ミズギボウシ)

項目	内容	
生態	湿地に生える多年草。葉は線状披針形で、日本産種のなかではもっとも細く、長さは10～35cm、幅2cm内外。花は8月下旬～9月に咲く <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	梅田北湿地において、3地点で220株が確認された。
	確認時期	R3 春季、R5 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：3地点 220株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された梅田北湿地及びその周辺の小規模な湿地と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された3地点 220株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された3地点 220株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物1」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月)

表 11-11-17(23) 重要な植物の予測結果(シラタマホシクサ)

項目	内容	
生態	<p>1年生草本。茎は通常ごく短い、多少伸長することもある。花期は8～10月、花茎は1本のものから50本以上出るものまであり、直立して高さ15～60cm、4肋があつてねじれ、先端に1個の頭花をつける。頭花は球形、直径5～10mm、小花には多くの白色の短毛がある。丘陵地の湧水湿地の、日当たりのよい場所に生育する<sup>1)</sup>。</p> <p>1年草。高さ20～40cm。花期は8～9月。頭花は球形で径6～8mm、全体に白色の短毛が密生する。花は多数かたまつてつく。丘陵地の日当たりのよい湧水湿地に生育する<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における 確認状況	確認状況	梅田北湿地において、3地点で100株が確認された。
	確認時期	R5 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：3地点100株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の本種は、本種が確認された梅田北湿地と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された3地点100株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された3地点100株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

2) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック&lt;植物・菌類編&gt;－」(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月)

表 11-11-17(24) 重要な植物の予測結果(キシウナキリスゲ)

項目	内容	
生態	<p>常緑性の多年生草本。匍匐枝はなく、株をつくる。茎は高さ 80～120cm。海岸近くの丘陵地の林内に生育する果期は 9～10 月、小穂は多数つく<sup>1)</sup>。</p> <p>多年草。高さ 80～120cm。基部の鞘は濃褐色、繊維状に細裂する。果期は 9～10 月。海岸に近い丘陵地や低山地の林内に生育する<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における 確認状況	確認状況	人工林において、1 地点で 3 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1 地点 3 株
生育環境の分布状況	<p>本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の本種は、本種が確認された人工林と考えられる。</p>	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 3 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 3 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

2) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック&lt;植物・菌類編&gt;－」(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月)

表 11-11-17(25) 重要な植物の予測結果(セイタカハリイ)

項目	内容	
生態	1年生または多年生の草本。明らかな匍匐枝はない。茎は束生して株をつくり、細い円柱形、高さ30～50cm。ため池の岸などの湿地に生育する。花期は7～10月、小穂の先に1個つく <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	梅田北湿地において、1地点で40株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1地点40株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された梅田北湿地周辺の小規模な湿地と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点40株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点40株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

表 11-11-17(26) 重要な植物の予測結果(クグテンツキ)

項目	内容	
生態	<p>多年生草本。根茎は短く、株になって茎を束生する。茎は長さ 45～85cm。生育環境は蒲郡では埋立地の水たまり、常滑は谷戸田のわきの草地である。花期は 8～10 月、花序は散形状または複散形状、枝は長いもので 2～6cm になり、苞は葉状で 1～2 個つき、花序より長い<sup>1)</sup>。</p> <p>暖地の水湿地に生えるやや大型の多年草<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における確認状況	確認状況	草地（陸水域）において、1 地点で 50 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1 地点 50 株
生育環境の分布状況	<p>本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された草地（陸水域）と考えられる。</p>	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 50 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 50 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

2) 「改訂新版 日本の野生植物1」（大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成27年12月）

表 11-11-17(27) 重要な植物の予測結果(トラノハナヒゲ)

項目	内容	
生態	多年生草本。茎は少数が束生し、細くて斜めに伸び、先端は垂れて長さ50～90cmになる。葉は叢生する。湿地の縁などに生育する。花期は8～10月、花序は茎の先端部に2～3個やや離れてつき、密に枝分かれした散房状、多数の小穂をやや分散してつける <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	梅田北湿地において、2地点で8株が確認された。
	確認時期	R5 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：2地点8株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の本種は、本種が確認された梅田北湿地と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点8株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点8株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

表 11-11-17(28) 重要な植物の予測結果(ヒメコヌカグサ)

項目	内容	
生態	多年草。高さ 40～70cm。茎はやや多数束生し、細くて柔らかい。丘陵地の林内や林縁の湿地に生育する。花期は 5～6 月。円錐花序の枝は半輪生で、長さ 2.5～3mm の小穂をまばらにつける <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	梅田北湿地において、4 地点で 100 株が確認された。
	確認時期	R3 春季、R5 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：4 地点 100 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された梅田北湿地及びその周辺の小規模な湿地と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 4 地点 100 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 4 地点 100 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

表 11-11-17(29) 重要な植物の予測結果(ハスノハカズラ)

項目	内容	
生態	ツル性の常緑木本。葉は三角状卵形で盾状につく。花期は7～9月。葉腋から柄のある複散形の花序を出し、淡緑色の小さな花を多数つける。果実は赤熟する。海岸に近い低山地の林縁に生育する <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、15地点で62株、人工林において、5地点で121株、果樹園において、12地点で84株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：4地点 110株 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：28地点 157株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）、人工林及び果樹園と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には4地点 110株の生育地点が存在し、工事に伴う土壌水分及び日照等の変化により生育環境の一部で質的变化が生じ、生育が困難となる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された28地点 157株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化により生育環境の一部で生育が困難となることから、本種の生育環境への影響はありと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育環境は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には4地点 110株の生育環境が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照等の変化により生育環境の一部で質的变化が生じ、生育が困難となる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された28地点 157株の生育環境は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化により生育環境の一部で生育が困難となることから、本種の生育環境への影響はありと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(30) 重要な植物の予測結果(ヤマビワ)

項目	内容	
生態	常緑性の小高木。高さ 10m、直径 30cm に達する。暖地の照葉樹林内に生育する。花期は 6 月、枝の先端に大きな円錐花序をつけ、花は白色、直径 4～6mm である。果実は球形で直径約 6mm、黒紫色に熟す <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、1 地点で 1 株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1 地点 1 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 1 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 1 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(31) 重要な植物の予測結果(ヤマモガシ)

項 目	内 容	
生態	常緑性の高木。幹は高さ 10m くらいになる。海岸近くの常緑広葉樹林内に生育する。花期は 7～8 月、葉腋から長さ 6～18cm の総状花序を伸ばし、多くの花をつける。花は白色で長さ約 1cm、つぼみの時は細長い筒形で先がこん棒状にふくらみ。開花すると 4 枚の花被片がねじれて開く <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、5 地点で 12 株、人工林において、6 地点で 11 株、果樹園において、2 地点で 2 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：13 地点 25 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 13 地点 25 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 13 地点 25 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(32) 重要な植物の予測結果(マンサク)

項目	内容	
生態	高さ2～5mの低木または小高木で、高さはときに12mに達する。花期は2～5月。花序軸の先に2～4花をつける。花弁は広線形、長さ10～15mm、黄色、リボン状によじれる <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、1地点で1株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1地点1株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点1株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点1株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物2」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成28年3月)

表 11-11-17(33) 重要な植物の予測結果(ミヤコイバラ)

項目	内容	
生態	上昇する無毛の落葉低木。枝には鉤径のとげのほか、腺を多生することがある。また、腺のないものもある。花期は5～6月。花はやや小さく、径約1.8cm、白色。丘陵地、低山地にふつうで、乾いたところに多い <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、8地点で15株、果樹園において、2地点で8株が確認された。
	確認時期	R3 春季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：1地点3株 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：9地点20株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び果樹園と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には1地点3株の生育地点が存在し、工事に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された9地点20株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には1地点3株の生育地点が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された9地点20株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物3」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成28年9月)

表 11-11-17(34) 重要な植物の予測結果(サクラバハノキ)

項目	内容	
生態	落葉高木。高さ 20m。暖地低地のやや湿った場所から水湿地に生育する。花期は 2～3 月 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、5 地点で 12 株、人工林において、1 地点で 3 株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：— 直接改変区域近傍：— 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：6 地点 15 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 6 地点 15 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 6 地点 15 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020—静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉—」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

表 11-11-17(35) 重要な植物の予測結果(ホルトノキ)

項目	内容	
生態	常緑性の高木。高さ 20m。常緑広葉樹林に生育するが、街路樹や庭園木としても広く植栽される。花期は 6～7 月 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、11 地点で 11 株、人工林において、4 地点で 4 株、草地において、1 地点で 2 株、果樹園において、1 地点で 1 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 夏季、R6 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：17 地点 18 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 17 地点 18 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 17 地点 18 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(36) 重要な植物の予測結果(ヒメスミレ)

項目	内容	
生態	路傍、駐車場、鉄道の線路沿いなど人家の近くに生える、高さ 3-10cm の多年草。無茎種。花期は 3~5 月。花はスミレよりも小型で、径 1~1.5cm、濃紫色まれに淡紫色 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	緑の多い住宅地・公園・墓地等において、1 地点で 150 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季
	確認位置	直接改変区域：— 直接改変区域近傍：— 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1 地点 150 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の本種の主な生育環境は、本種が確認された緑の多い住宅地・公園・墓地等と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 150 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 150 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物3」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成28年9月)

表 11-11-17(37) 重要な植物の予測結果(スミレ)

項目	内容	
生態	耕作地の縁や河川敷などのほか高原や海岸にも生える、高さ 6～20cm の多年草。無茎種。花期は 3～6 月。花は大型で径約 2cm、濃紅紫色 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、1 地点で 20 株、緑の多い住宅地・公園・墓地等において、1 地点で 15 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 春季
	確認位置	直接改変区域：— 直接改変区域近傍：— 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：2 地点 35 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び緑の多い住宅地・公園・墓地等と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 2 地点 35 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 2 地点 35 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物3」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成28年9月)

表 11-11-17(38) 重要な植物の予測結果(ニオイタチツボスミレ)

項目	内容	
生態	丘陵地や山地の夏緑樹林の明るく乾き気味の林床や林縁に生える、高さ5～15cmの多年草。有茎種の1つだが、花期には地上茎は短く無茎種のように見え、開花の後に伸長して長さ40cmにもなり、下部は地面をほう。花期は3～5月。花は青紫色から濃赤紫色で中心部は白色 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、2地点で43株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：2地点 43株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点43株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点43株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物3」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成28年9月)

表 11-11-17(39) 重要な植物の予測結果(フモトスミレ)

項目	内容	
生態	低山から山地の明るい林内や林縁または草地に生える、高さ 3～8cm の多年草。無茎種。花期は 3～5 月。花は白色、径約 1cm <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、6 地点で 90 株、人工林において、4 地点で 252 株が確認された。
	確認時期	R3 春季、R6 春季、R6 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：10 地点 342 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 10 地点 342 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 10 地点 342 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物3」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成28年9月)

表 11-11-17(40) 重要な植物の予測結果(マキノスミレ)

項目	内容	
生態	シハイスミレに比べて、葉を垂直に伸ばし、三角状披針形でより細く、長くとがり、上面は濃緑色で光沢があり、花はよい小型で色が濃い。東日本でよく見かける傾向がある <sup>1)</sup> 。 ※シハイスミレ 山地の夏緑樹林の明るい林内や林縁に生える、高さ3～8cmの多年草。無茎種。花期は3～5月。花は赤紫色、径約1.5cm <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、10地点で390株が確認された。
	確認時期	R3 春季、R5 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：10地点 390株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された10地点390株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された10地点390株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物3」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成28年9月)

表 11-11-17(41) 重要な植物の予測結果(ミズマツバ)

項目	内容	
生態	一年草。高さ3～10cm。基部は枝を伸ばして地面を這う。平地から山間部の水田、池沼や中小河川の河口部などの湿地に生育する。花期は8～10月。花弁はない <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	水田において、1地点で4株が確認された。
	確認時期	R2 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1地点4株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された水田と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点4株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点4株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック<植物・菌類編>－」(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月)

表 11-11-17(42) 重要な植物の予測結果(ウスゲチョウジタデ)

項目	内容	
生態	一年草。高さ15～100cm。茎は直立する。湿地と水田、水路などに生育する。花期は8～10月。花は黄色、花弁、萼片は5個ずつ。花床に白毛が密生する <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	水田において、41地点で226株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R6 秋季、R7 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：1地点5株 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：40地点221株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された水田と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には1地点5株の生育地点が存在し、工事の実施に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された40地点221株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、工事中は、工事濁水や土砂等の開放水域等への直接流入を極力抑える計画とするため、濁水等による水環境の変化による生育環境の質的な変化はほとんど生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には1地点5株の生育地点が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された40地点221株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック<植物・菌類編>－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

表 11-11-17(43) 重要な植物の予測結果(サトヤマタデ)

項目	内容	
生態	1年生草本。茎は直立して枝を分け、高さ35～80cmになる。沢沿いの林道わきの湿った場所、放棄された谷戸田の跡、沢すじの土砂の堆積した場所などに生育している。花期は8月下旬～9月、総状花序は長さ4～10cmで先はたれ、まばらに花をつける <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、30地点で4708株、人工林において、4地点200株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R4 秋季、R5 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：34地点4908株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林の湿地と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された34地点4908株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された34地点4908株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(44) 重要な植物の予測結果(コギシギシ)

項目	内容	
生態	多年草。高さ 30～50cm。暖温帯の水田や河川沿いなどの湿った場所に生育する。花期は4～8月 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	水田において、1地点で50株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1地点50株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された水田と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点50株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点50株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック<植物・菌類編>－」(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月)

表 11-11-17(45) 重要な植物の予測結果(トウカイコモウセンゴケ)

項目	内容	
生態	<p>モウセンゴケ(2倍体)とコモウセンゴケ(4倍体)との雑種複2倍体起源の分類群と推定される6倍体の植物。従来、コモウセンゴケと混同されていた。葉は赤みをおび、葉柄状の基部を除いた表面に長腺毛がある<sup>1)</sup>。</p> <p>※コモウセンゴケ 日当たりのよい酸性の湿地に生える多年草。6~9月、高さ5~15cmの花茎が出て、数個~十数個の花が総状につく<sup>1)</sup>。</p>	
現地調査における確認状況	確認状況	梅田北湿地において、2地点504株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：2地点504株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された梅田北湿地周辺の小規模な湿地と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点504株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点504株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物4」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年3月)

表 11-11-17(46) 重要な植物の予測結果(トキワガキ)

項目	内容	
生態	照葉樹林に生える常緑の小高木。花は雌雄異株について6月ごろに開く <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、2地点で3株、人工林において、5地点で7株、果樹園において、1地点で1株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：8地点11株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)、人工林及び果樹園と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された8地点11株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された8地点11株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物4」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年3月)

表 11-11-17(47) 重要な植物の予測結果(クロミノニシゴリ)

項目	内容	
生態	落葉低木。葉は長さ 4～10cm。丘陵地のため池や湿地のほとりに生育する。花期は 5～6 月。花は白色で円錐花序に多数つく <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、3 地点で 7 株、人工林において、1 地点で 1 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：4 地点 8 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 4 地点 8 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 4 地点 8 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物 2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和 2 年 3 月）

表 11-11-17(48) 重要な植物の予測結果(カンザブrouノキ)

項目	内容	
生態	常緑性の小高木。高さ 10m くらいになる。暖地の照葉樹林内に生育する。花期は 8～9 月、花序は上部の葉腋につき、穂状でしばしば下部で分枝し、密に褐色の毛がある。花は無柄、花冠は 5 裂し、白色、直径 7～8mm <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、34 地点で 226 株、人工林において、14 地点で 46 株、果樹園において、2 地点で 2 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：50 地点 274 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 50 地点 274 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 50 地点 274 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブック あいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(49) 重要な植物の予測結果(ヒロハドウダンツツジ)

項目	内容	
生態	落葉性の低木。よく分枝し、高さ1~2mになる。蛇紋岩などの疎林に生育する。花期は4月中旬~5月上旬。枝先に1~5個の花を散形につける <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、3地点で19株、果樹園において、2地点で3株が確認された。
	確認時期	R6 春季、R6 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：5地点22株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された5地点22株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された5地点22株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020-植物編-」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

表 11-11-17(50) 重要な植物の予測結果(ミツバツツジ)

項目	内容	
生態	高さ2～3mの落葉低木。4月中旬～5月中旬、葉の展開する前に開花し、1個の花芽から1～3個の花が開く。温帯下部の山地の林内に生える <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、13地点で58株、人工林において、3地点で8株、果樹園において、2地点で6株が確認された。
	確認時期	R3 早春季、R3 春季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：18地点 72株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された18地点72株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された18地点72株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物4」（大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年3月）

表 11-11-17(51) 重要な植物の予測結果(ヤマツツジ)

項目	内容	
生態	高さ1～5mの半落葉低木。4～6月、枝先の2個の花芽から1～3個の花を開く。低山地の疎林内に生える <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、22地点で79株、人工林において、6地点で35株、果樹園において、2地点で12株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 夏季、R6 春季、R6 夏季、R6 秋季、R7 早春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：30地点 126株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された30地点 126株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された30地点 126株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物4」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年3月)

表 11-11-17(52) 重要な植物の予測結果(モチツツジ)

項目	内容	
生態	高さ1~2mの半常緑低木。4~5月、枝先の1個の花芽から新葉とともに2~5個の花を開く。低山の疎林に生える <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、53地点で599株、人工林において、17地点で86株、果樹園において、7地点で118株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 夏季、R6 春季、R6 夏季、R6 秋季、R7 早春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：77地点 803株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された77地点 803株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された77地点 803株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物4」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年3月)

表 11-11-17(53) 重要な植物の予測結果(コバノミツバツツジ)

項目	内容	
生態	高さ1.5～3mの落葉低木。4月上旬～下旬、葉の展開前または展開と同時に枝先の1個の花芽から1～2個の花を開く。雑木林内に生える <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、5地点で13株、果樹園において、1地点で1株が確認された。
	確認時期	R3 夏季、R6 春季、R6 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：6地点14株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の子な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された6地点14株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された6地点14株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物4」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年3月)

表 11-11-17(54) 重要な植物の予測結果(ナガボナツハゼ)

項目	内容	
生態	<p>落葉低木。高さ1~2m。花期は5月。花は5~10cmの総状花序に下を向いて多数つく。花冠は白色である。ナツハゼに似るが、苞葉が大きい<sup>1)</sup>。</p> <p>落葉性の低木。よく分枝し、高さ30~150cmになる。やせた低山地の疎林の林縁などに生育している。花期は5月<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、2地点で18株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：2地点 18株
生育環境の分布状況	<p>本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)と考えられる。</p>	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点18株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点18株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020ー静岡県レッドデータブック<植物・菌類編>ー」(静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月)

2) 「レッドデータブックあいち2020ー植物編ー」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

表 11-11-17(55) 重要な植物の予測結果(ルリミノキ)

項目	内容	
生態	常緑性の低木。高さ 1～1.5m になる。暖地の照葉樹林や二次林内に生育する。花期は 5～6 月 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、1 地点で 9 株、人工林において、1 地点で 5 株、果樹園において、1 地点で 1 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：3 地点 15 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 3 地点 15 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 3 地点 15 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(56) 重要な植物の予測結果(センブリ)

項目	内容	
生態	日当たりのよい山野に生える一年草または越年草で、高さ 5～20cm、茎は紫色をおびる。花は 8～11 月、円錐状につく <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	人工林において、6 地点で 23 株が確認された。
	確認時期	R2 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：6 地点 23 株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 6 地点 23 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 6 地点 23 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物4」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年3月)

表 11-11-17(57) 重要な植物の予測結果(シタキソウ)

項目	内容	
生態	つる性で常緑の多年生草本。通常は海岸近くの林内に生育する。茎は切ると白い乳液が出て、下部は木質となる。花期は6月、花は葉腋から出る集散花序に2～3個つき、白色で芳香がある <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、116地点で1950株、人工林において、53地点で280株、果樹園において、3地点で4株、その他の市街地・工場地帯において、1地点で1株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R3 早春季、R3 春季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：— 直接改変区域近傍：2地点2株 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：171地点2233株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には2地点2株の生育地点が存在し、工事に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された171地点2233株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない</li> <li>・直接改変区域近傍には2地点2株の生育地点が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された171地点2233株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在に伴い本種の生育環境の一部で質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020—植物編—」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(58) 重要な植物の予測結果(キジョラン)

項目	内容	
生態	常緑照葉樹に生えるつる性の多年草で、つるはやや太く、かたくて圧毛がある。葉は円形、広卵形で対生。花期は8～9月 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地(人工林以外)において、2地点で2株、人工林において、2地点で2株、果樹園において、1地点で1株が確認された。
	確認時期	R3 早春季、R3 春季
	確認位置	直接改変区域：— 直接改変区域近傍：— 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：5地点5株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地(人工林以外)及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された5地点5株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された5地点5株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物4」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年3月)

表 11-11-17(59) 重要な植物の予測結果(クサタチバナ)

項目	内容	
生態	<p>多年草。高さ 30～60cm。茎は直立する。花期は 4～6 月。花は茎の上部に集まり長い柄があり、白色で 5 裂する<sup>1)</sup>。</p> <p>多年生草本。高さ 30～60cm になる。山地の草地に生育することが多いが、愛知県では丘陵地の林縁に生育している。花期は 6～7 月<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、1 地点 5 株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1 地点 5 株
生育環境の分布状況	<p>本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の本種は、本種が確認された樹林地（人工林以外）と考えられる。</p>	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 5 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された 1 地点 5 株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

2) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(60) 重要な植物の予測結果(カワヂシャ)

項目	内容	
生態	川岸、溝の縁や田に生える越年草。茎は直立または斜上して高さ10～100cm。5～6月、葉腋に長さ5～15cm、幅1～1.5cmの細い花序を出し、50～120個の花をつける <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	草地（陸水域）において、1地点で100株が確認された。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1地点100株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された草地（陸水域）と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点100株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点100株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物5」（大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年9月）

表 11-11-17(61) 重要な植物の予測結果(ヒロハズメノトウガラシ)

項目	内容	
生態	1年生草本。茎は長さ15～20cm、分枝して地表に広がる。水田雑草として、水田の周辺部やあぜに生育する。花期は8～10月、花は茎の上部に総状花序状につき、花冠は白色に近い淡紅色 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	水田において、46地点で10,414株が確認された。
	確認時期	R2 秋季、R6 秋季、R7 秋季
	確認位置	直接改変区域：2地点 250株 直接改変区域近傍：3地点 280株 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：41地点 9,884株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された水田と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には2地点 250株の生育地点が存在し、工事の実施によって生育環境の一部が消失・縮小する。</li> <li>・直接改変区域近傍には3地点 280株の生育地点が存在し、工事の実施に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により、生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された41地点 9,884株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、工事中は、工事濁水や土砂等の開放水域等への直接流入を極力抑える計画とするため、濁水等による水環境の変化による生育環境の質的な変化はほとんど生じない。</li> <li>・以上より、工事の実施により本種の生育環境の一部が消失・縮小または質的な変化を生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には2地点 250株の生育地点が存在し、道路の存在によって生育環境の一部が消失・縮小する。</li> <li>・直接改変区域近傍には3地点 280株の生育地点が存在し、道路の存在に伴う土壌水分及び日照、水環境等の変化により、生育環境の一部で質的な変化が生じる。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された41地点 9,884株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、道路の存在により本種の生育環境の一部が消失・縮小または質的な変化が生じるが、周辺には同様の生育環境が広く分布することから、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020-植物編-」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

表 11-11-17(62) 重要な植物の予測結果(タニジャコウソウ)

項目	内容	
生態	多年生草本。高さ50～100cm。低山地の沢沿いの林内や林縁に生育する。二次林内のほか、造林地や伐採跡地などにも多少は生育している。花期は9～10月 <sup>1)</sup> 。	
現地調査における確認状況	確認状況	人工林において、2地点で8株が確認された。
	確認時期	R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：2地点8株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の本種は、本種が確認された人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点8株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点8株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」(愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月)

表 11-11-17 (63) 重要な植物の予測結果(ヒメナミキ)

項目	内容	
生態	<p>繊細な多年草。高さ10～60cm。花期は6～8月。白色でわずかに淡紅紫色を帯びる。湿地や沼地の草地に生育する<sup>1)</sup>。</p> <p>繊細な多年生草本。茎は細く直立し、周辺の植物が少ない場所では基部から分枝し高さ20～30cm、多い場所では上部で枝を分け高さ60cmに達する。泥質の湿地に生育する。花期は8～9月<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、1地点で10株が確認された。
	確認時期	R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1地点10株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）の湿地と考えられる。	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点10株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された1地点10株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

2) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(64) 重要な植物の予測結果(スズメノハコベ)

項目	内容	
生態	<p>小型の一年草。低地の水田などの湿地に生育する。茎は分枝して匍匐する。花期は7～10月。花は葉腋につき、花冠は淡紅色<sup>1)</sup>。</p> <p>小型の1年生草本。茎は分枝してはい、長さ5～20cmになる。水田に生育することが多いが、ため池や小水路の岸などに生育することもある。花期は7～10月、花は葉腋に1個ずつつき、花冠は淡紅色<sup>2)</sup>。</p>	
現地調査における確認状況	確認状況	水田において、8地点で308株が確認された。
	確認時期	R2 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：8地点 308株
生育環境の分布状況	<p>本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された水田と考えられる。</p>	
工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された8地点308株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、工事中は、工事濁水や土砂等の開放水域等への直接流入を極力抑える計画とするため、濁水等による水環境の変化による生育環境の質的な変化はほとんど生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響は極めて小さいと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された8地点308株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「まもりたい静岡県の野生生物2020－静岡県レッドデータブック〈植物・菌類編〉－」（静岡県くらし・環境部環境局自然保護課、令和2年3月）

2) 「レッドデータブックあいち2020－植物編－」（愛知県環境局環境政策部自然環境課、令和2年3月）

表 11-11-17(65) 重要な植物の予測結果(ハンカイソウ)

項目	内容	
生態	山地の湿った草地や林間の草地に生える高さ60～100cmの多年草。茎は直立し、無毛で、ふつう紫色の斑点がある。花は6～8月。頭花は散房状に2～8個つき、径10cmに達する <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	樹林地（人工林以外）において、4地点で51株、人工林において、2地点2株が確認された。
	確認時期	R3 早春季、R3 春季、R3 夏季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：6地点53株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された樹林地（人工林以外）及び人工林と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された6地点53株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された6地点53株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物5」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年9月)

表 11-11-17(66) 重要な植物の予測結果(サワオグルマ)

項目	内容	
生態	山間の湿地に生える高さ50～80cmの多年草。ときに群生する。花は4～6月。頭花は6～30個が散房状または散状につく <sup>1)</sup> 。	
現地調査における 確認状況	確認状況	梅田北湿地において、1地点で50株、人工林において、1地点で40株が確認された。
	確認時期	R3 春季、R5 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：2地点90株
生育環境の分布状況	本種の生態及び現地調査による確認状況から、調査地域における本種の主な生育環境は、本種が確認された梅田北湿地及びその周辺の小規模な湿地と考えられる。	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点90株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・なお、本種の生育地点は計画路線が渡河する河川等の上流側に位置するため、工事中の濁水等による水環境への影響は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には本種の生育地点は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された2地点90株の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていること、また、生育地の周辺には地下水の変化に影響を及ぼすトンネル構造は計画されていないことから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、本種の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

1) 「改訂新版 日本の野生植物5」(大橋・門田・木原・邑田・米倉編、平成29年9月)

## (b) 重要な植物群落等

調査地域に存在する重要な植物群落等の予測結果は、表 11-11-18(1)～(4)、表 11-11-19(1)～(2)に示すとおりです。

表 11-11-18(1) 重要な植物群落等（巨樹・巨木林）の予測結果  
（大福寺のイチョウ）

項目	内容	
選定基準	環境省「第 6 回自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林フォローアップ調査」の調査対象樹木	
現地調査における 確認状況	確認状況	浜松市浜名区三ヶ日町福長の大福寺において確認された。1 株が生育。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺(直接改変区域外)：1 地点 1 株
生育環境の分布状況	－	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該巨樹の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該巨樹の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域には当該巨樹は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍には当該巨樹は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該巨樹の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該巨樹の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

表 11-11-18 (2) 重要な植物群落等（巨樹・巨木林）の予測結果  
（大神山八幡宮のスギ）

項目	内容	
選定基準	環境省「第6回自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林フォローアップ調査」の調査対象樹木	
現地調査における 確認状況	確認状況	湖西市大知波の大神山八幡宮において確認された。1株が生育。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1地点1株
生育環境の分布状況	－	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該巨樹の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該巨樹の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該巨樹の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該巨樹の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

表 11-11-18(3) 重要な植物群落等（巨樹・巨木林）の予測結果  
（大神山八幡宮のスタジイ）

項目	内容	
選定基準	環境省「第 6 回自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林フォローアップ調査」の調査対象樹木	
現地調査における 確認状況	確認状況	湖西市大知波の大神山八幡宮において確認された。1 株が生育。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1 地点 1 株
生育環境の分布状況	－	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該巨樹の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該巨樹の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該巨樹本件は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該巨樹の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該巨樹の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

表 11-11-18(4) 重要な植物群落等（巨樹・巨木林）の予測結果  
（大神山八幡宮のスタジイ）

項目	内容	
選定基準	環境省「第6回自然環境保全基礎調査巨樹・巨木林フォローアップ調査」の調査対象樹木	
現地調査における 確認状況	確認状況	湖西市大知波の大神山八幡宮において確認された。1株が生育。
	確認時期	R3 春季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1地点1株
生育環境の分布状況	－	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該巨樹の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該巨樹の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該巨樹は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該巨樹の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該巨樹の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

表 11-11-19(1) 重要な植物群落等（天然記念物）の予測結果  
（トキワマンサク北限群生地）

項目	内容	
選定基準	静岡県指定の天然記念物	
現地調査における 確認状況	確認状況	湖西市神座地区において確認された。62株が生育。
	確認時期	R2 秋季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1地点 62株
生育環境の分布状況	－	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該天然記念物は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該天然記念物は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該天然記念物の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該天然記念物の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該天然記念物は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該天然記念物は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該天然記念物の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該天然記念物の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

表 11-11-19(2) 重要な植物群落等（天然記念物）の予測結果  
（玉洞寺のサザンカ）

項目	内容	
生態	浜松市指定の天然記念物	
現地調査における 確認状況	確認状況	浜松市浜名区三ヶ日町上尾奈の玉洞寺において確認された。1株が生育。
	確認時期	R3 冬季
	確認位置	直接改変区域：－ 直接改変区域近傍：－ 事業実施区域周辺（直接改変区域外）：1地点1株
生育環境の分布状況	－	
工事施工ヤード及び 工事用道路等の設置 による影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該天然記念物は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該天然記念物は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該天然記念物の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、工事の実施に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該天然記念物の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	
道路の存在による 影響の予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直接改変区域に当該天然記念物は存在しない。</li> <li>・直接改変区域近傍に当該天然記念物は存在しない。</li> <li>・事業実施区域周辺で確認された当該天然記念物の生育地点は、直接改変区域及びその近傍から十分な距離が確保されていることから、生育地の環境条件の変化はなく、道路の存在に伴う生育環境の質的な変化は生じない。</li> <li>・以上より、当該天然記念物の生育環境への影響はないと予測される。</li> </ul>	

## (3) 環境保全措置の検討

## 1) 環境保全措置の検討の状況

植物の重要な種の予測結果において、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、掘削工事、トンネル工事の実施及び道路（地表式、嵩上式、地下式）の存在に係る植物に関する環境影響がない又は小さいと予測される以外の種について、表 11-11-20 に示すとおり、環境保全措置を検討しました。

表 11-11-20 環境保全措置の検討の状況

環境保全措置	保全対象種	実施の 適否	適否の理由
個体の監視	エンシュウムヨウラン、シュンラン、ハスノハカズラ	適	生育環境の質的な変化が生じる可能性のある個体について継続的に監視し、枯死等の変化が確認された場合には、移植等の環境保全措置を検討し、実施することで、種を保存できます。
林縁保護	エンシュウムヨウラン、シュンラン	適	伐採された樹林の修復や林縁の露出の低減を図ることにより、樹林内の林床に生育する重要な種への影響を低減できます。

## 2) 環境保全措置の実施主体、方法その他の環境保全措置検討結果の検証

環境保全措置の実施主体は事業者です。

環境保全措置としては、「個体の監視」、「林縁保護」を実施します。

環境保全措置の実施内容等の検討結果を表 11-11-21 に示します。

環境保全措置の検討にあたっては、実行可能な措置を講じるものとしており、事業者により実行可能な範囲内で環境影響をできる限り回避又は低減されるところと考えます。

表 11-11-21(1) 環境保全措置の検討結果

環境保全措置	個体の監視
環境影響	事業実施区域近傍に存在する生育地点については、土壌水分及び日照等の変化により、生育環境の質的な変化が生じる可能性が予測されます。
保全対象	エンシュウムヨウラン、シュンラン、ハスノハカズラ (事業実施区域近傍の生育環境の質的な変化が生じる可能性のある範囲に生育する個体を対象とします。)
方法・内容	生育個体の生育状況を継続的に監視し、生育不良等の変化が確認された場合には、移植等の環境保全措置を検討し、実施します。 なお、監視は直近工区の工事前から工事期間中及び工事終了後3年間とします。
環境保全措置の効果	種及び個体の保全を図るものであり、その効果が期待できます。
効果の不確実性	なし
他の環境への影響	なし

表 11-11-21(2) 環境保全措置の検討結果

環境保全措置	林縁保護
環境影響	日光や風から樹林内環境を保護する役割を担う低木層が伐採されることで、林内が乾燥化し、樹林内の林床に生育する種であるエンシュウムヨウラン、シュンランの生育環境に質的な変化が生じる可能性が予測されます。
保全対象	エンシュウムヨウラン、シュンラン (事業実施区域近傍の生育環境の質的な変化が生じる可能性のある範囲に生育する個体を対象とします。)
方法・内容	生育個体近くの伐採箇所において、生育地の乾燥化を防ぐため、詳細な工事内容に応じて、既存樹の胴切りや新たな林縁部への在来低木～中木種の植栽などの防風策を行います。
環境保全措置の効果	伐採された樹林の修復や林縁の露出の抑制を図ることにより、樹林内に生育する重要な植物の生育環境の変化を低減できます。
効果の不確実性	なし
他の環境への影響	なし

## (4) 評価

### 1) 評価の手法

#### ① 回避又は低減に係る評価

工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、掘削工事、トンネル工事の実施及び道路（地表式、嵩上式、地下式）の存在に係る植物に関する影響が、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避され、又は低減されており、必要に応じその他の方法により環境の保全についての配慮が適正になされているかどうかについて、見解を明らかにすることにより行いました。

### 2) 評価の結果

#### ① 回避又は低減に係る評価

対象道路は、道路の計画段階において、多くの動物・植物が生息・生育環境として利用している弓張山地の樹林地では大部分でトンネル構造を採用し、植物の生育環境をできる限り回避した計画としています。

また、事業実施段階において以下の事項に配慮することとしています。

- ・ 建設発生土の仮置きやトンネル排水等、工事の実施に伴って発生する濁水の影響を低減するために、沈砂地等の濁水処理施設で処理した後に公共用水域に放流することにより、水質への影響の低減に努めます。
- ・ 河川内での工事を行う場合には、瀬替え施工を基本としますが、必要に応じて仮締め切り工法を採用し、いずれの場合も工区内にてコンクリートを十分乾燥させ、河川下流側の pH に異常が生じないことを確認するなど、水質、動物、植物、生態系への影響の低減に努めます。
- ・ 保全対象植物の生育地近傍で工事を行う場合には、必要に応じて立入防止柵の設置や作業員への周知を行うなどの配慮をします。

さらに、影響があると予測されたエンシュウムヨウラン、シュンラン、ハスノハカズラについては、環境保全措置を実施することで、環境負荷を回避・低減するとともに、環境保全措置のうち「林縁保護」については、環境保全措置の内容をより詳細なものにするため、事後調査を実施します。

これらのことから、建設機械の稼働、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置、掘削工事、トンネル工事の実施及び道路（地表式、嵩上式、地下式）の存在に係る植物に関する影響は、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されていると評価します。